Canon

POWER PROJECTOR LV-8235 UST

使用説明書

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

もくじ

LV-8235 UST の特長 …… 4

安全にお使いいただくために …… 6

正しくお使いいただくために …… 13

準　備 …… 21

付属品を確認してください …… 22
本体各部の名称 …… 23
機器をつなぐ端子 …… 24
操作パネルとインジケータ …… 26
リモコン …… 27

設置・接続 …… 31

設置のしかた …… 32
接続の例　～コンピューター …… 34
接続の例　～ビデオ …… 35
接続の例　～コンポーネント …… 36
電源コードを接続する …… 37

基本操作 …… 39

電源を入れる・切る …… 40
入力信号を選択する …… 46
投写画面の調整やその他の操作 …… 47
3D 映像を視聴する …… 53
オンスクリーンメニューの操作方法 …… 57

入力の選択・設定・調整 …… 63

入力を切り換える …… 64
システムモードの選択　～コンピューター …… 66
PC 調整メニュー …… 68
投写画面の調整 …… 72
画面サイズの選択・調整 …… 77
設定で詳細な設定・調整をする …… 87
リモコンのボタンの便利な機能 …… 107

保守とお手入れ …… 109

ランプの交換 …… 110
お手入れについて …… 112
エアフィルターについて …… 113
内部温度の上昇について …… 115
インジケータ表示とプロジェクターの状態 …… 116
故障かなと思ったら …… 118

付　録 …… 123

コンピューターシステムモード一覧 …… 124
メニュー内容一覧 …… 129
仕様 …… 133
（別売品 …… 135）

保証とアフターサービス …… 143

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。　例：[OK] ボタン、[COMPUTER IN 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。　例：「入力」、「設定」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

※ DLP®、DLP® ロゴは、テキサス・インスツルメンツの登録商標です。
※ NVIDIA®、NVIDIA® ロゴ、および 3D VISION™ は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。

LV-8235 UST の特長

高精細

❒高精細1チップDLP®

WXGA画像をリアル表示

SXGA、SXGA+、UXGA、WUXGAを圧縮表示（アナログ）

セキュリティ機能

❒暗証番号を登録してセキュリティ強化

「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

❒操作ボタンをロックして、プロジェクターの誤操作を防ぐ「キーロック」機能

❒ワイヤーなどを通すことができるセキュリティバー

優れた設置性

❒プロジェクターとスクリーンの距離が近くても大画面投写が可能

短い投写距離

排気口をふさぐことなく、横置きで壁に、縦置きで床にぴったりつけて置くことが可能。

❒さまざまな設置方法に対応

据置

天吊り

リア投映

❒ランプの交換時期を画面表示とインジケータでお知らせします

❒ランプの明るさが調整できるランプモード機能

❒ダイレクトオフ機能

ご使用後にリモコンや操作パネルのボタンを押さずに、電源コードを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができます。

高機能

❒3D 映像投写可能

フレームシーケンシャル方式対応。

❒電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

❒キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能

❒プログレッシブスキャン

プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投写します。

❐快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

コンピューターの信号の判別と最適設定を自動で行う「マルチスキャン システム」と「オートPC 」機能。

見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写できる「デジタルズーム」機能。（コンピューターモード時）

投写画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。

画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。

画面を一時的に消す「Blank」機能。

プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。

「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

音声を一時的に消す「MUTE」機能。

「カラーボード」モードでスクリーンが無くても黒（緑）板や色のついた壁などに投写して、通常のスクリーンに投写したときの色合いを再現。

❐豊富な接続端子群

D-sub15ピン、HDMI端子、コンポジットビデオ端子、S映像端子、モニター出力用D-sub15ピンも 1 系統搭載。

❐有線LAN機能

ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理が可能。

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
感電注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**
分解禁止　接触禁止 水ぬれ禁止　ぬれ手禁止	**これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。**
禁　止	**この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。**
アース線を接続する　電源プラグをコンセントから抜け	**これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。**
注　意	**この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。**

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ 警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜け

感電注意

- 煙が出ている
- 変なにおいや音がする
- 大きな音がしてランプが消えた
- 水など液体が本機に入った
- 金属類や異物が本機に入った
- 本機を倒したり、落としたりしキャビネットを破損した

⚠ 警告

電源コードの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。

禁　止

感電注意

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- 電源コードを敷物で覆うと、それに気づかず重い物を載せてしまうことがあります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱しないでください。
- 電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- 付属している電源コード以外は使わないでください。

アース線を接続する

感電注意

- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。

禁　止

感電注意

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。コードが傷つきます。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。

注　意

感電注意

- 電源プラグやコネクターは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。

電源プラグを
コンセントから
抜け

感電注意

- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

ぬれ手禁止

感電注意

- ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。

注　意

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

設置のときのご注意

⚠ 警告

本機の設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。火災や感電、けがの原因になります。

水ぬれ禁止

感電注意

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

接触禁止

感電注意

- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。

電源プラグをコンセントから抜け

感電注意

- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。

禁　止

分解禁止

- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機（消耗品を含む）、リモコンの改造や分解をしないでください。

禁　止

- 吸気口や排気口の穴から物などを差し込まないでください。
- 投写中に本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズ (投写窓) をのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

リモコンの電池についての安全上のご注意

⚠ 警 告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

禁　止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 電池は充電しないでください。

注　意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは 2 本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- ＋と–の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで電池内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注 意

設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

電源プラグを
コンセントから
抜け

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

接触禁止

禁　止

- 動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因になりますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。

禁　止

- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 動作中に、レンズ (投写窓) の前に物を置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 本機のレンズ (投写窓)・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因になることがあります。

注　意

- 長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。清掃は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。
- 天井取り付け（天吊り）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備があると、事故の原因となることがあります。

⚠ 警告

ランプ交換およびランプが破損したときは、以下の点に注意してください。感電やけがの原因になります。

電源プラグをコンセントから抜け

感電注意

- ランプの交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注　意

- ランプが破損した場合は本機内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

⚠ 注 意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。

禁　止

- 使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。必ず電源を切って 1 時間以上が経過して、ランプが十分冷えるまでお待ちください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

注　意

- ランプ交換の指示が出た（「LAMP REPLACE」インジケータが点灯した）場合、交換時期を越えて使用し続けるとランプが破裂する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプが破損した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
- 使用済み水銀ランプを捨てるときは、蛍光灯と同じ取り扱いで各自治体の条例に従って廃棄してください。

3D 視聴についての安全上のご注意

⚠ 注 意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。

禁　止

・光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、３D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
・体調不良や、疲れた状態での３D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、３D 映像の視聴を控えてください。
・もしも以下のようなの症状が出た場合は、すぐに３D視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
　・3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
　・3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。

注　意

・長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
・お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。３D映像の視聴年齢については、およそ６歳以上を目安にしてください。
・３D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離ご覧ください。画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約３倍以上が目安）から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、調整脚を収納してから、ケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用のケースをご使用ください。
輸送用のケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

レンズ (投写窓) に向けて強い光を照射しないでください

レーザ光線などの強い光を直接レンズ (投写窓) に照射されますと、製品性能に影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。

● 電波障害自主規制について ●

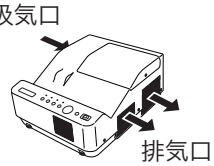
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。とくに小さいお子さまにはご注意ください。

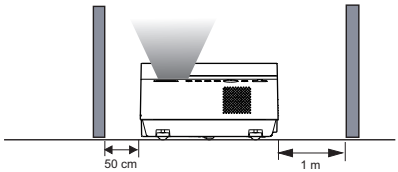
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 40℃	保管温度範囲	－ 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（吸気口 50cm 以上、排気口 1m 以上）

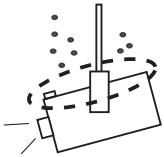


● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

⚠ 注意



天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の清掃を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。

エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターの周辺を定期的に清掃することが必要です。清掃の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに清掃を行ってください。

※ エアフィルター本体は清掃できません。汚れたら交換してください。

エアフィルターの交換時期をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの交換時期をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については 105 ページをご覧ください。

エアフィルターの交換が必要になったことをお知らせします。この表示が出たら、エアフィルターを交換してください。

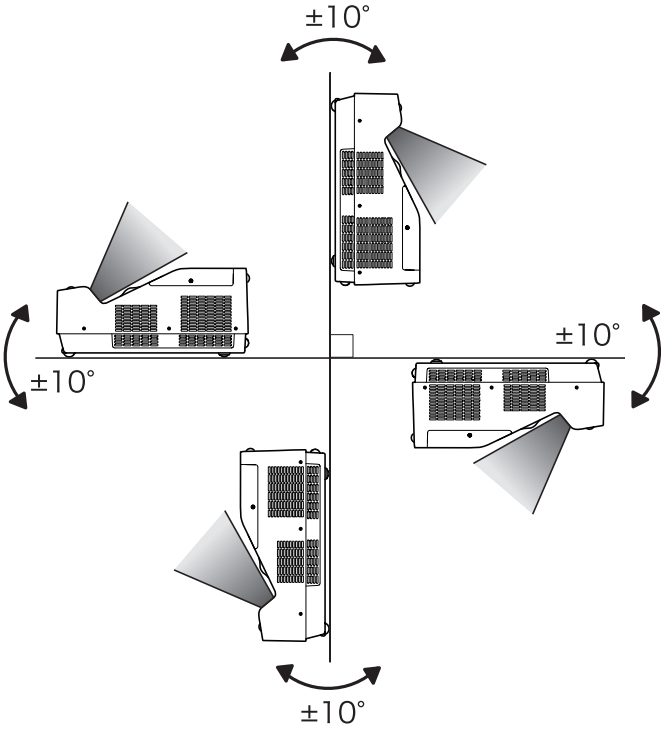
正しい方向に設置してください

⚠ 注意

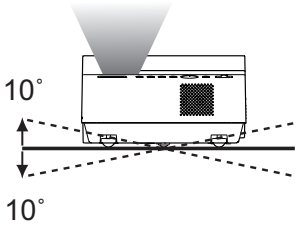
プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となることがあります。

本機は、据え置き・天吊り・壁掛けで設置可能です。天井から吊り下げて設置するときや壁掛で設置するときは、落下しないようにしっかりと固定してください。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。

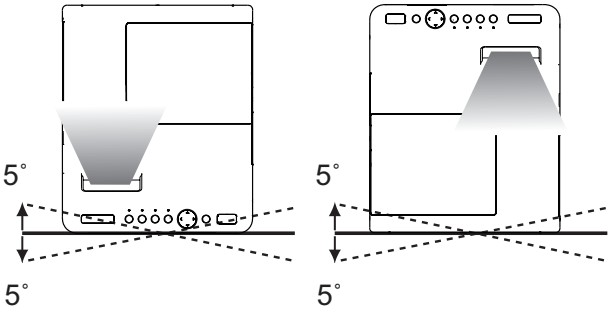
※ レンズを水平方向から下に向けて設置するとき、向きによっては投写画面の設定を「天吊り」にしてください。設定方法は 79、80 ページを参照してください。



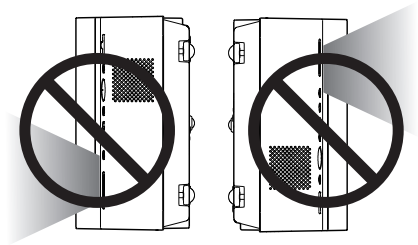
以下の方向では使用しないでください



プロジェクターの左右方向の傾きは各 10 度以内としてください。



プロジェクターを 5 度以上傾けて設置しないでください。



吸気口または排気口を下にして置かないでください。

プロジェクター取り扱い上のご注意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。

プロジェクターを持ち運ぶときのご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。

- プロジェクターの接続ケーブルをはずします。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、故障の原因になります。
- 調整脚をおさめます。

⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは次のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ 注意　ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

準　備

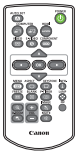
付属品や本体のボタン、端子の名称などを説明します。

付属品を確認してください…… *22*
本体各部の名称…… *23*
機器をつなぐ端子…… *24*
操作パネルとインジケータ…… *26*
リモコン…… *27*

付属品を確認してください

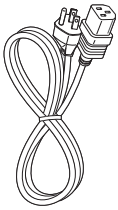
プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

❶ リモコン(MXCW)



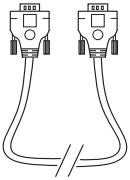
❷ リモコン用乾電池
(単4形2本)

❸ 電源コード(3.0m)



❹ 電源プラグアダプタ

❺ コンピューターケーブル
(D-sub 用)　(1.8m)



❻ 使用説明書
(本書+別冊1冊)

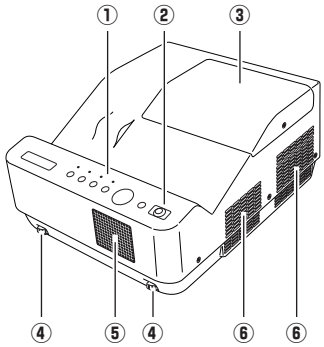
❼ 保証書

❽ PIN コードラベル＊

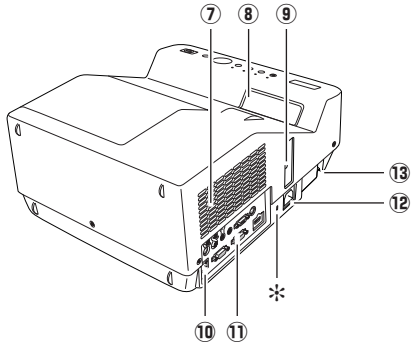
＊ 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 138 ページ

本体各部の名称

前面



後面



✻ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

⚠ 注意 ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となることがあります。

① 操作パネル・インジケータ
② リモコン受光部※1
③ ランプ・フィルターカバー
④ 調整脚
⑤ スピーカ
⑥ 排気口※2
⑦ 吸気口※3
⑧ 投写窓※4
⑨ フォーカスレバー
⑩ LAN 接続端子
※ 詳細は、別冊をご覧ください。
⑪ 側面端子
⑫ 電源コード接続ソケット
⑬ セキュリティバー
※ 盗難防止用のチェーンやワイヤーなどを取り付けるときに使用します。

※1
⚠ 注意 リモコン受光部は本体より少し飛び出しています。この面を下にして置くときは傷がつかないように、柔らかい布を敷いてください。直接机や床の上に置くと、リモコン受光部が破損するおそれがあります。

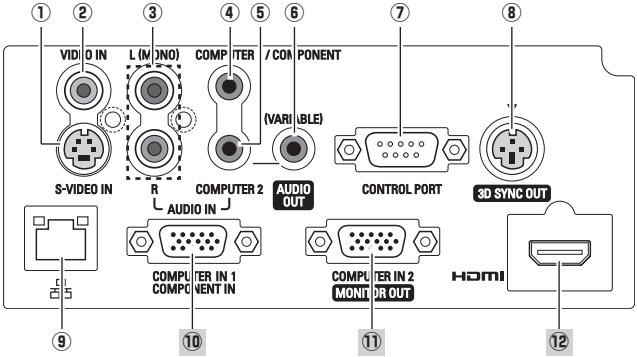
※2
⚠ 注意 スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となることがあります。

※3
⚠ 注意 内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。火災の原因となることがあります。

※4
⚠ 注意 ご使用中、投写窓は非常に熱くなります。上に手や物を置いたりしないでください。光を遮ると変形や火災の原因となることがあります。
また、投写窓は汚さないようにしてください。映像がぼやけるおそれがあります。

機器をつなぐ端子

側面端子



① **S-VIDEO IN（S 映像入力端子）**

☞ 35 ページ

ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

② **VIDEO IN（ビデオ入力端子）**

☞ 35 ページ

ビデオ機器からのコンポジット信号を入力します。

③ **AUDIO IN（ビデオ音声入力端子）**

☞ 35 ページ

①または②に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L（mono）］端子へ接続してください。

④ **COMPUTER/COMPONENT AUDIO IN 1（コンピューター 1/コンポーネント音声入力端子）**

☞ 34、36 ページ

⑩に接続されたコンピューターからまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

⑤ **COMPUTER AUDIO IN 2（コンピューター 2 音声入力端子）**

☞ 34、36 ページ

⑪に接続されたコンピューターからの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

⑥ **AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）**

☞ 36 ページ

投写中のコンピューターまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。
この端子をヘッドホン端子として使用しないでください。

⑦ **CONTROL PORT** ☞ 137 ページ

プロジェクターの操作をコンピューターで行うときに使用します。この端子とコンピューターのシリアルポート（RS-232C）をつなぎます。

⑧ **3D SYNC OUT（3D 同期信号出力端子）** ☞ 54 ページ

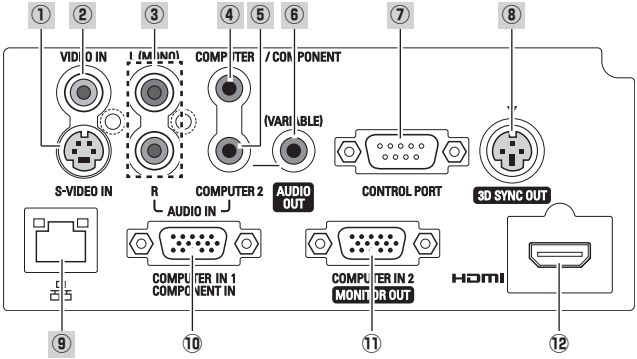
赤外線エミッターとプロジェクターを接続するときにこの端子を使用します。

⑨ **LAN 接続端子** ☞ 138 ページ

有線 LAN ケーブルを接続します。
※ 詳しくは別冊を参照してください。

⑩以降は次ページへ

側面端子



⑩ COMPUTER IN 1/COMPONENT IN（コンピューター / コンポーネント入力端子）

☞ 34、36 ページ

コンピューターからのアナログ信号、またはビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。

⑪ COMPUTER IN 2/MONITOR OUT（コンピューター入力 / モニター出力端子）

☞ 34 ページ

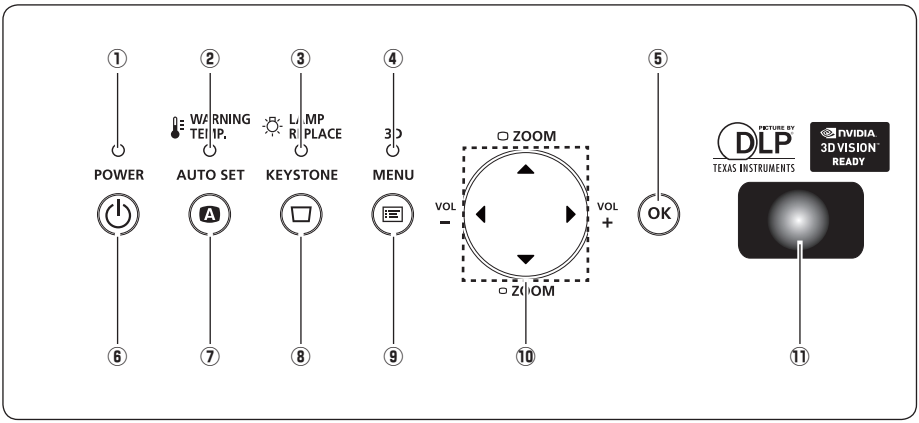
コンピューターからのアナログ信号を入力します。
また、コンピューターのモニター出力として切り換えて使用することができます。
接続には付属または市販のコンピューターケーブル（D-sub 用）を使用します。

⑫ HDMI（HDMI 入力端子）

☞ 34、36 ページ

DVD プレーヤやハイビジョン受信機などで、HDMI 端子出力のある機器からの信号を入力します。また、コンピューターからのデジタル信号も DVI-HDMI(変換) ケーブルで接続することもできます。

操作パネルとインジケータ



① **POWER インジケータ**
115 ～ 117 ページ

プロジェクターの状態を示します。

点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：ランプの冷却中です。
点灯（緑）：プロジェクターは動作中です。
点滅（緑）：パワーマネージメントモードがはたらいています。

② **WARNING TEMP. インジケータ**
115~117 ページ

赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

③ **LAMP REPLACE インジケータ**
110、116、117 ページ

黄色に点灯して、ランプの交換時期を知らせます。

④ **3D インジケータ**
53、116、117 ページ

青色に点灯して、3D 映像の投写中であることをお知らせします。

⑤ **O K ボタン** 57、78 ページ

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑥ **⏻ POWER ボタン**
40、44 ページ

電源を入り・切りします。

⑦ **AUTO SET ボタン**
48 ページ

「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した「オートインプット、オートPC（PC 入力時のみ）」機能を自動調整します。

⑧ **KEYSTONE ボタン** 49 ページ

画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

⑨ **MENU ボタン** 57 ページ

オンスクリーンメニューを表示します。

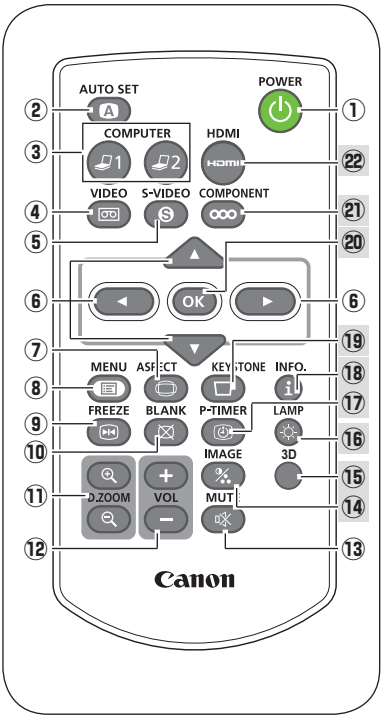
⑩ **方向 /VOLUME/ZOOM ボタン**
51、57、78 ページ

オンスクリーンメニューでのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動する、画面ズームにも使用します。

⑪ **リモコン受光部** 29、30 ページ

半球形なので、多方向からの受光が可能です。

リモコン



① **POWER（パワー） ボタン**
☞ 40、44 ページ
電源を入り・切りします。

② **AUTO SET（オートセット） ボタン** ☞ 48 ページ
「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した「オートインプット、オート PC（PC 入力時のみ）」機能を自動調整します。

③ **COMPUTER（コンピュータ） 1/2 ボタン** ☞ 46 ページ
入力をコンピューター 1（または 2）に切り換えます。

④ **VIDEO（ビデオ） ボタン** ☞ 46 ページ
入力をビデオに切り換えます。

⑤ **S-VIDEO（S ビデオ） ボタン** ☞ 46 ページ
入力を S ビデオに切り換えます。

⑥ **方向 ボタン** ☞ 57 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、各種メニューの調整に使用します。

⑦ **ASPECT（アスペクト） ボタン** ☞ 50 ページ
画面サイズを選択します。

⑧ **MENU（メニュー） ボタン** ☞ 57 ページ
オンスクリーンメニューを表示します。

⑨ **FREEZE（フリーズ） ボタン** ☞ 107 ページ
画面を一時的に静止させます。

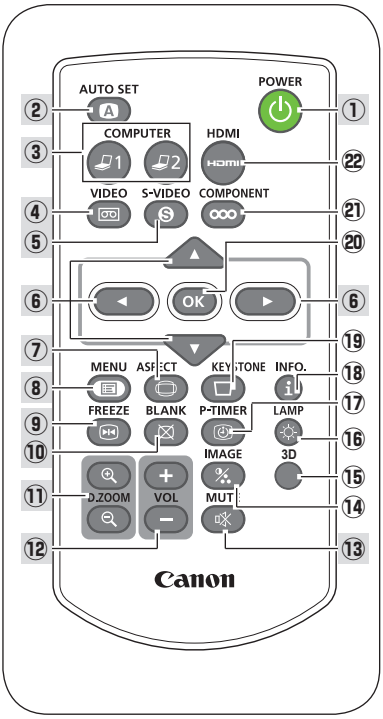
⑩ **BLANK（ブランク） ボタン** ☞ 107 ページ
画面を一時的に消します。

⑪ **D.ZOOM（デジタルズーム）+/- ボタン** ☞ 78、79 ページ
デジタルズームの操作に使用します。

⑫ **VOLUME（ボリューム）+/- ボタン** ☞ 51 ページ
音量の調整に使用します。

⑬ **MUTE（ミュート） ボタン** ☞ 51 ページ
音声を一時的に消します。

⑭以降は次ページへ



⑭ **IMAGE（イメージ） ボタン** ☞ 50 ページ

画質モードを選択します。

⑮ **3D ボタン** ☞ 53 ページ

3D モードに切り換えます。

⑯ **LAMP（ランプ） ボタン** ☞ 50 ページ

ランプモードを選択します。

⑰ **P-TIMER（ピータイマー） ボタン** ☞ 108 ページ

このボタンを押してから経過した時間を表示させます。

⑱ **INFO.（インフォ） ボタン** ☞ 60 ページ

投写中の信号状況や設定の状況を表示します。

⑲ **KYESTONE（キーストーン） ボタン** ☞ 49 ページ

画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

⑳ **OK（オーケー） ボタン** ☞ 57、78 ページ

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

㉑ **COMPONENT（コンポーネント） ボタン** ☞ 46 ページ

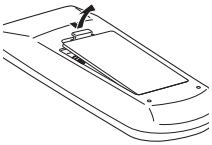
入力をコンポーネントに切り換えます。

㉒ **HDMI ボタン** ☞ 46 ページ

入力を HDMI に切り換えます。

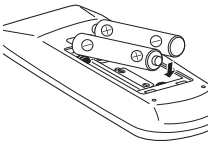
電池のいれかた

1 電池カバーを開けます。



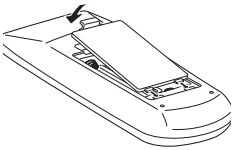
ツメの部分を押して、引き上げます。

2 電池を入れます。



＋プラス、－マイナスに注意して付属の乾電池（単4形アルカリ乾電池2本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



カチッと音がするまでしっかり閉じます。

電池を使用するときのご注意

禁　止

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。火災やけがの原因となります。

・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

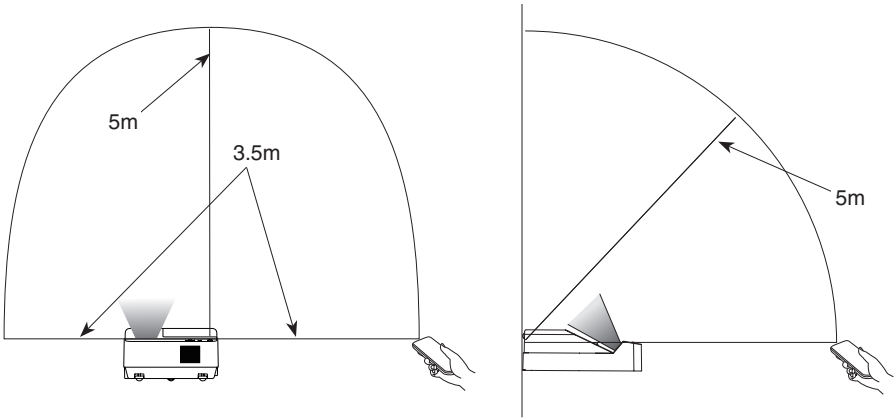
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、リモコン受光部から約3.5～5m以内です。
（次ページの図参照）

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

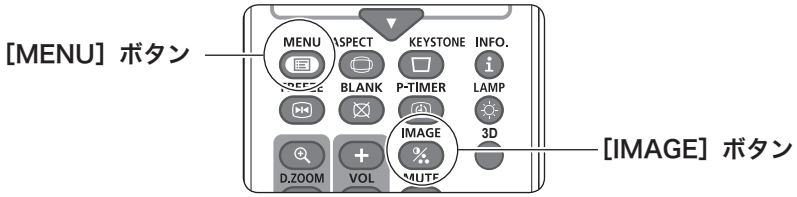


※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンコードの設定

本機は 2 種類のリモコンコードの設定が可能です。2 台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用できます。
リモコンコードを変更する場合には、プロジェクター本体とリモコンの両方を合わせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードの切り換えは「設定」メニューで行います。☞ 99 ページ

＜手順＞
リモコンの［MENU］と［IMAGE］ボタンの両方を同時に 5 秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。



※ 工場出荷時は「コード 1 」に設定されています。
※ 電池を交換するとリモコンコードが工場出荷時に戻ります。電池交換後はリモコンコードを再設定してください。
※ 長期間電池入れずにいるとリモコンコードが工場出荷時に戻ります。

設置・接続

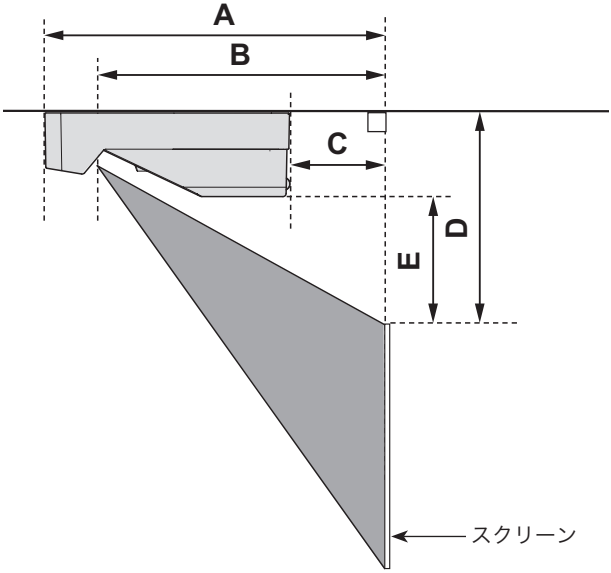
プロジェクターの設置と、コンピューターやビデオ機器との接続について説明します。

設置のしかた …… 32
接続の例　～コンピューター … 34
接続の例　～ビデオ …… 35
接続の例　～コンポーネント … 36
電源コードを接続する …… 37

設置のしかた

スクリーンからのおよその投写距離と画面サイズの関係

画面サイズはプロジェクターのレンズ（投写窓）からスクリーンまでの距離によって決まります。また、本体はスクリーンの面と垂直になるように設置してください。



画面サイズ	60 型	74.6 型	80 型	110 型
（幅 x 高さ : mm）	1292 x 808	1608 x 1005	1723 x 1077	2369 x 1481
A	32.0 cm	38.6 cm	41.0 cm	54.5 cm
B	23.0 cm	29.6 cm	32.0 cm	45.5 cm
C	-6.6 cm	0.0 cm	2.4 cm	15.9 cm
D	22.5 cm	25.4 cm	26.5 cm	32.5 cm
E	4.7 cm	7.6 cm	8.7 cm	14.7 cm

※ 上表はアスペクト比 16：10 の画面サイズで投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 124 ～ 128 ページ

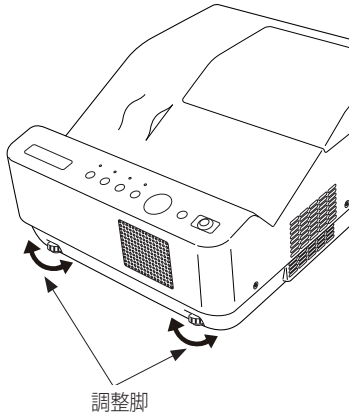
メモ

- 本機には、光学ズーム機能はありません。スクリーンサイズを調節するには、投写距離を変えてください。
- 投写距離はレンズ設計仕様に基づくおよその計算値です。プロジェクターはそれぞれ異なる特性があり、実際にプロジェクターを設置したときの画面サイズとは異なる場合があります。投写画面を確認して設置してください。
- スクリーンは固定されている平面なものをお使いください。また、壁面などへ投写する場合、凹凸があると映像が正しく映らないことがあります。

投写画面の高さと傾きを調整する

調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。±１度の間で調整できます。

※ 持ち運ぶときはかならず調整脚を収納してください。



お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

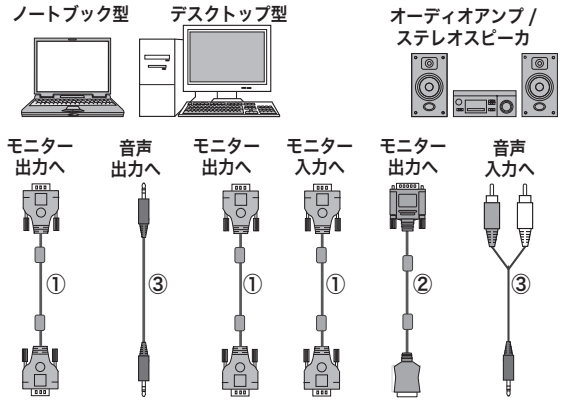
接続の例　～コンピューター

接続に使用するケーブル（＊＝市販のケーブルをお使いください。）

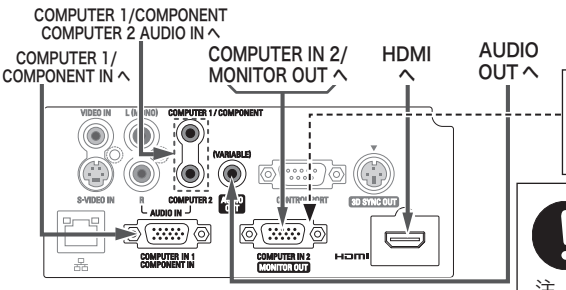
- D-sub ケーブル ①
- DVI/HDMI ケーブル ②＊
- オーディオケーブル ③＊

コンピューターの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行ってください。設定方法はコンピューターの使用説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。



［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］のモニター出力として切り換え可能です。☞ 96 ページ

接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

注　意

HDMI 端子への接続について

プロジェクターの HDMI 端子とコンピューターをつなぐときは、以下のことにご注意ください。

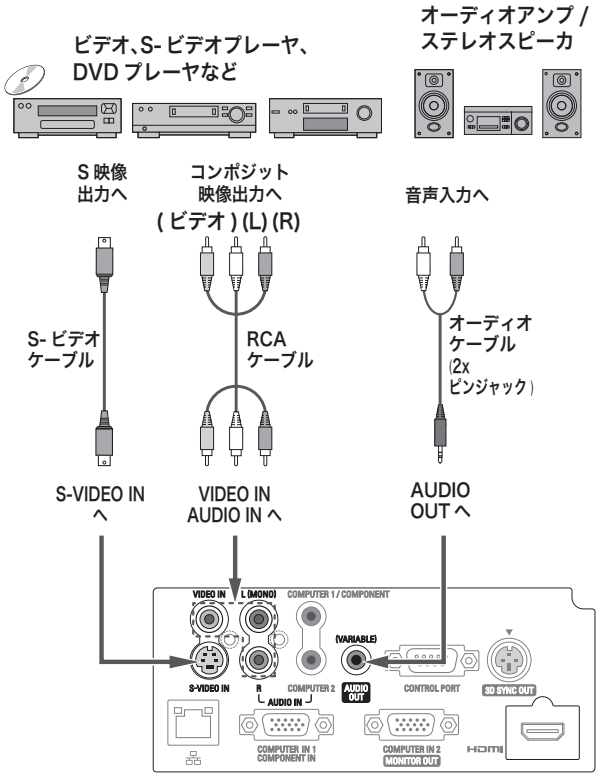
- コンピューターのデジタル信号を投写するときは、コンピューターの設定によって映像が正しく投写されないことがあります。このようなときは「HDMI 設定」（☞ 95 ページ）の「イメージ」を「拡張」に設定してください。正しい階調表現で投写できます。
- DVI 信号を投写するときは、ケーブルを接続し、プロジェクターの電源を入れ、入力を選択してからコンピューターを起動してください。
  この手順の通りに操作しないと映像が投写されないことがあります。映像が投写されないときはコンピューターを再起動してください。
- プロジェクターの電源が入っているときにケーブルを抜かないでください。一度ケーブルを抜いて、再接続したときに映像が投写されないときがあります。このようなときはコンピューターを再起動してください。

接続の例　～ビデオ

接続に使用するケーブル

• ビデオ ケーブル（RCAx3）• S ビデオ ケーブル　　• オーディオケーブル

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。（D-sub ケーブルは 1 本付属されています。）



※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

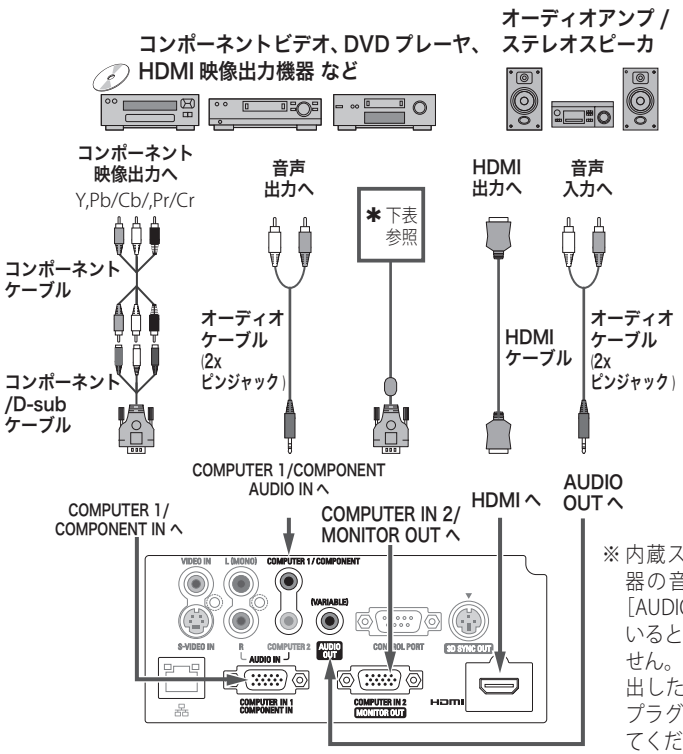
接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。
注　意

接続の例　～コンポーネント

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル（RCAx3、D-sub/ コンポーネント）
- HDMI ケーブル
- オーディオケーブル

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。(D-sub/ コンポーネントケーブルは別売がありますが、3 ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。☞ 135 ページ)



※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

> **注　意**
>
> **接続するときのご注意：**
> 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

＊ MONITOR OUT の仕様

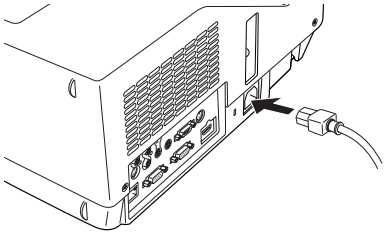
入力端子			出力の可否	接続ケーブル
COMPUTER 1/ COMPONENT	D-sub15	ANALOG PC	○	
		Y, Pb/Cb, Pr/Cr	○	◆
		SCART	×	
HDMI	HDMI	HDMI	×	
S-VIDEO	DIN-4	S-video	×	
VIDEO	RCA	Video	×	

◆ 端子の一方の形状が D-sub であるケーブルが必要です。

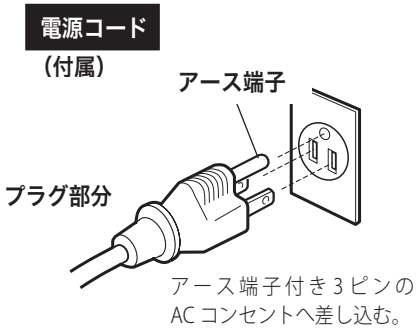
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、24、25、34 ～ 36 ページを参照してコンピューターやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体の電源コード接続ソケットに差し込みます。



2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



⚠ 警告

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンで電源を切っても待機電力 * が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

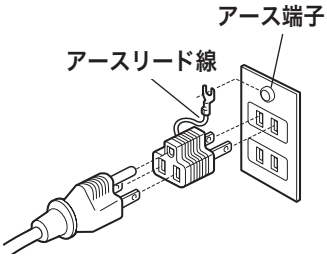
* 待機中消費電力：0.47/10.3W（スタンバイモード：エコ / ネットワーク）

⚠ 警告

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください
感電の原因になります。

電源コードのプラグはアース端子付き３ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが２ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行い、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピューター使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事はかならず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。



基本操作

電源の入れ方など基本的な操作などを説明します。

電源を入れる・切る …… 40
入力信号を選択する …… 46
投写画面の調整や
その他の操作 …… 47
3D 映像を視聴する …… 53
オンスクリーンメニューの
操作方法 …… 57

電源を入れる・切る

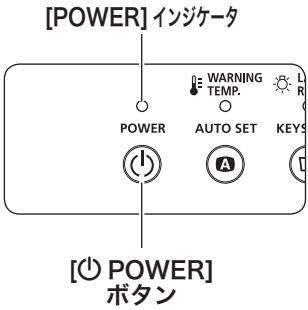
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、24、25、34 ～ 36 ページを参照してコンピューターやビデオ機器を接続してください。

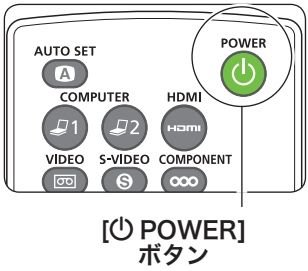
1 電源コードを AC コンセントに接続します。
［POWER］インジケータ (赤) が点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［⏻ POWER］ボタンを押して電源を入れます。*
正常に起動すると［POWER］インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン ** が終わると画像が映ります。スタート時、「入力モード ❖」と「ランプモード ❖」が約 4 秒間表示されます。

操作パネル



リモコン



カウントダウン中、カウントダウン終了後の動作について

< カウントダウン中 >

- リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタン以外は操作することができません。
- リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押すと画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。その後カウントダウンの終了を待たずに［POWER］以外のボタンの操作も可能になります。このとき投写画面は暗く、ランプが安定するにつれて、徐々に明るくなります。
  ※ ランプが点灯し、安定するまでの間に映像がちらつくことがあります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。

< カウントダウン終了後 >

- 「設定」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞ 100 ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力する画面が現れます。（入力方法は 42 ページ）

* 1) 設定メニューで「ダイレクトパワーオン・オン」（☞ 97 ページ）に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
2) 設定メニューで「オートインプット・オン 2」（☞ 88、89 ページ）に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

** 設定メニューで、

- 「オンスクリーン表示・オン」（☞ 91 ページ）、「ロゴ選択・オフ」（☞ 92 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ、またはカウントダウン オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞ 92 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。

入力モード、信号の種類、ランプモードの表示 ❖

入力信号が見つからないとき

無信号時に表示されます。表示されるガイダンスに合わせて接続状況を確認することができます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）のとき、メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

1 入力信号が見つからないときに下図 1 が表示されます。［方向］ボタンの上下でビデオまたはコンピューターを選択します。

2 自動的に信号の有無を確認し、それでも入力信号が確認されないときは、下図 2 が表示されます。信号の種類やケーブルの接続状況、出力機器の状況を確認してください。

※ 約 30 秒表示され、その後下図 1 に戻ります。このとき「オートインプット・オン 1/ オン 2」のときは信号を検索してから下図 1 に戻ります。

ビデオを映したい

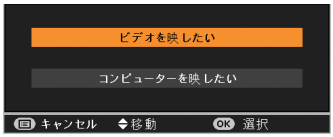


図 1

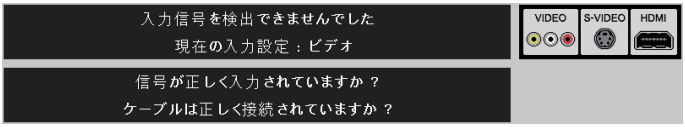


図 2

コンピューターを映したい

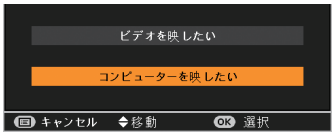


図 1

ケーブルが正しく接続されていても、映らないときは、コンピューターの外部出力設定を使用説明書などで確認してください。また、ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

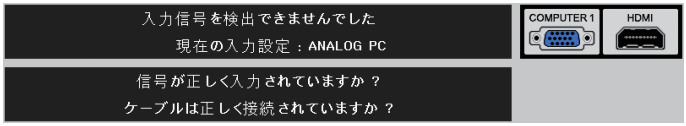


図 2

暗証番号の入力

※「電源を入れる」（☞ 40 ページ）1・2 に続いて・・・

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「手順 **2**」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

4 ① ［方向］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[方向] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）
この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

② 4 けた全ての数字を入力したら、ポインタを [方向] ボタン右で「セット」に移動します。

③ [OK] ボタンを押して決定します。

5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [方向] ボタン右で「セット」に移動します。

6 [OK] ボタンを押して決定します。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［方向］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し [方向] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。

7 正しく入力されていると「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

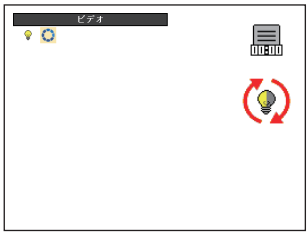
※ 暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは 100、101 ページの「設定」メニュー、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。

エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により右図のような「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります
☞ 110、113 ページ
※ 表示は約 4 秒間出ます。



フィルター警告とランプ交換の表示

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［⏻POWER］ボタンを押すと、画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

もう1 度押すと電源が切れます

2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。

※ 表示は約 4 秒間出ます。

ダイレクトオフ機能について

・ご使用後リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押さずに電源コードを抜いて、電源を切ることができます。
　※ 会議が終了してすぐに移動したいときなどに便利です。
・会議室やホールなど電源を集中管理している場所では、ボタンを押さずに電源コードを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができます。
　※ 天吊りなどで手の届かない位置に設置したときなどに便利です。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが緑に点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは［POWER］ボタンで操作してください。

冷却ファンについて

投写している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

商品の動作仕様に関するお知らせ

電源オフ後、約 40 秒後に冷却ファンが回転し始めますが、プロジェクターの内部部品を保護するためで、故障ではありません。

パワーマネージメントモード機能とその働き

本機には、パワーマネージメントモード機能が搭載されています。
30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。
※ 工場出荷時は「終了・30 分」に設定されています。
☞ 96、97 ページ

↑
ランプ消灯までの時間

動作について

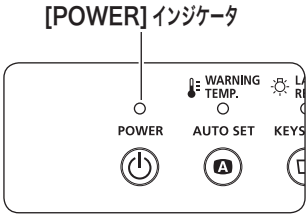
設定が「待機」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［LAMP］インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
※ [POWER] インジケータは消灯しています。

2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。([LAMP]インジケータは暗点灯中)
この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

設定が「終了」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。（設定が「待機」のとき）

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

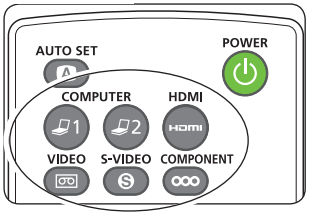
入力信号を選択する

リモコンのボタン

リモコンの［COMPUTER1/2、HDMI、VIDEO、S-VIDEO、COMPONENT ］ボタンを押して、投写する入力信号をダイレクトに選択することができます。

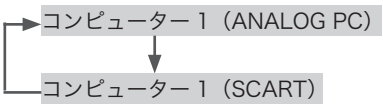
※ 正しい入力信号が選択されないときは、入力メニューで正しい入力信号を選んでください。
☞ 64、65 ページ
※ 操作パネルには入力を選択するボタンはありません。

リモコン



[COMPUTER1/2、HDMI、VIDEO、S-VIDEO、COMPONENT] ボタン

[COMPUTER 1] ボタン



※［COMPUTER 1］ボタンはボタンを押すたびに入力が切り換わります。

※「設定」メニューの中の「端子設定」の設定で、「モニター出力」を選択している場合は、「コンピューター 2」は表示されません。
※「設定」メニュー内の「オートインプット」で「オン 1/ オン 2」（☞ 88、89 ページ）を選択しているときは自動的に入力が切り換わります。このとき変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

投写画面の調整やその他の操作

投写画面を調整する

画面の大きさを決める

［ZOOM］ボタン

1 操作パネルの［方向］ボタンの上下を押してズームモードに入ります。

2 表示が出ている間に大きさを調整します。

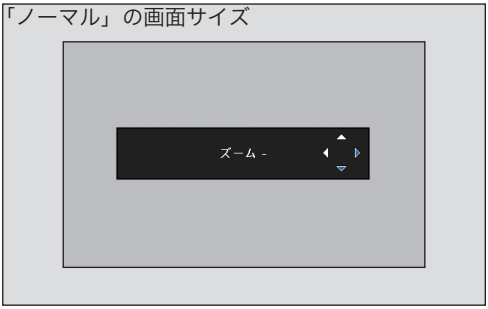
［方向］ボタン上▲　Zoom ＋　・・・　画面が大きくなります。

［方向］ボタン下▼　Zoom －　・・・　画面が小さくなります。

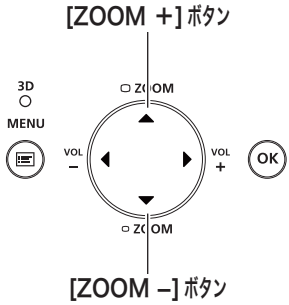
拡大率：1 倍（ズーム 0）まで
縮小率：5/6 倍まで

※ メニュー画面が出ているときは［方向］ボタンはズームボタンとして使うことができません。

※「スクリーンアスペクト（☞ 84 ページ）」を「16：9」または「4:3」に設定しているとき、または「アスペクト」で「カスタム」を選択しているときは、このズーム機能は使えません。



※ 約 4 秒間表示されます。
※ 移動する方向の矢印は青く表示され、「ノーマル」の位置まで移動したとき、矢印の表示が消えます。（初めの表示は白色です。）



ズーム +

ズーム -

※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 画面サイズが「ノーマル（☞ 77、80 ページ）」よりも小さいとき「ズーム＋/－」の表示がでている間に［OK］ボタンを押すと左図のような「△」が表示され、画面の位置を動かすことができます。［方向］ボタンの上下左右で移動することができます。

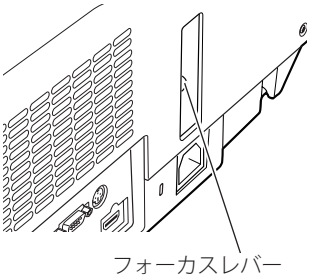
調整した画面の大きさを保存することができます。

「設定」メニューの「ズーム（☞ 90 ページ）」で調整した画面の保存についての設定ができます。

フォーカスを合わせる

フォーカス

［FOCUS］レバーを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



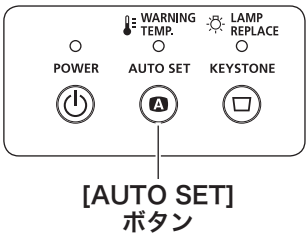
オートセットアップ

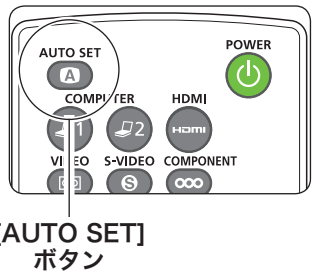
[AUTO SET] ボタン

「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した機能を自動調整します。

88、89 ページ

・オートインプット
・オート PC（PC 入力時のみ）





キーストーン調整（台形歪みの補正）

［KEYSTONE］ボタン

1 リモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押します。
「キーストーン」表示が現われます。

2 表示が出ている間に［方向］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

［方向］ボタン上▲ ・・・ 画面上部の幅が縮みます。

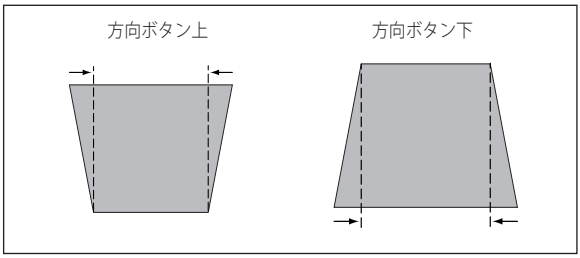
［方向］ボタン下▼ ・・・ 画面下部の幅が縮みます。

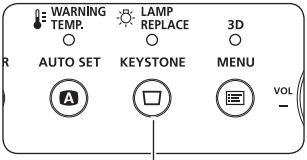
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して投写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。

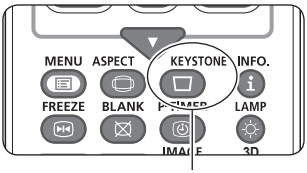
※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。

※「アスペクト」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。☞ 83、84 ページ





[KEYSTONE] ボタン



[KEYSTONE] ボタン

キーストーン

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は青く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

※ 表示が現れているあいだに、リモコンの［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

※ 表示中に他のボタンを押すと、そのボタンの機能に切り換わります。

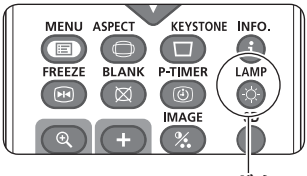
ランプの明るさを選択する

[LAMP] ボタン

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「エコモード」の 2 段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

明るい表示・・・**ノーマルモード**

上部がグレーの表示・・・**エコモード**



[LAMP] ボタン

※「設定」メニューの「ランプモード」からも調整することができます。☞ 98 ページ

画面サイズを選択する

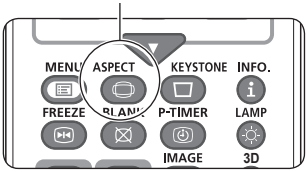
[ASPECT] ボタン

［ASPECT］ボタンを押すと、現在選択されているアスペクトメニューのモードが表示され、その後ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

※「アスペクト」メニューからも調整することができます。☞ 77 ～ 85 ページ

※ ボタンを 5 秒以上長押しすると「アスペクト」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。

[ASPECT] ボタン



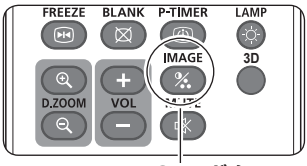
※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示･オフ」（☞ 91 ページ）のときは表示されません。

画質モードを選択する

[IMAGE] ボタン

［IMAGE］ボタンを押すごとに、「画質モード（☞ 72 ページ）」の画像イメージが順に切り換わります。



[IMAGE] ボタン

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）のときは表示されません。

音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

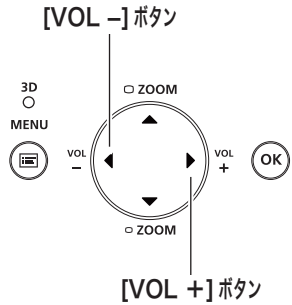
音量

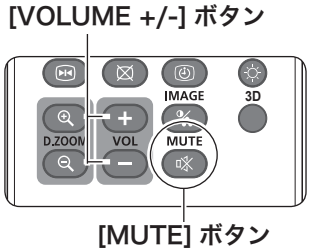
リモコンの［VOLUME +/–］ボタン、または操作パネルの［方向］ボタンの左右（VOL +/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

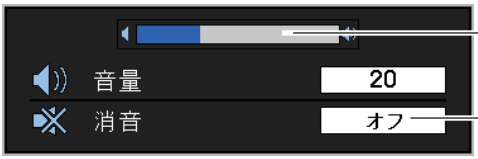
消音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、表示が「オン」になり、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ボタン（+/–）を押すと解除され、表示が「オフ」になります。

※［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。







音量の目安になります。

［MUTE］ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）のときは表示されません。

サウンドメニューで音を調節する

1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［方向］ボタン上下で「サウンド」メニューに合わせます。

［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右で、サブメニュー内に入り、［方向］ボタン上下で項目に合わせ、［OK］ボタンで選択します。

※［OK］ボタンでサブメニューに戻ります。

音量

［方向］ボタン右で音量が大きくなり、［方向］ボタン左で音量が小さくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

［OK］ボタンで「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

3D 映像を視聴する

3D 映像を視聴するには

本機が対応できる 3D 映像信号入力は、フレームシーケンシャル方式のみです。※1
本機で 3D 映像を投写・視聴するには、
・アクティブシャッター方式の 3D メガネ※2
・3D 専用のコンテンツ
・3D 専用コンテンツを再生できる機器※3
が、必要です。

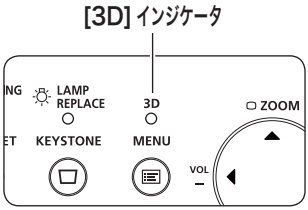
※1 フレームパッキング方式やサイドバイサイド方式など、その他の方式には対応していません。
※2 DLP-Link 方式、IR（赤外線）方式に対応しています。
※ すべての 3D メガネの動作保証はしていません。
※3 例えば、コンピューターでは 3D 映像を 120Hz でフレームシーケンシャルに出力するグラフィックボードやソフトウェアが必要です。

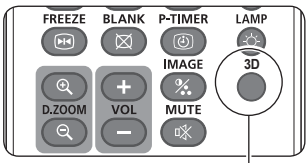
3D メガネとプロジェクターの準備

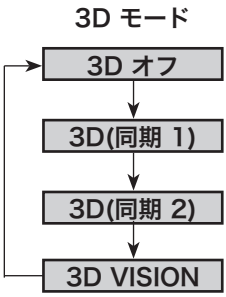
DLP-Link 対応メガネのとき

DLP-Link に対応している 3D メガネを使用するときは、以下の手順で 3D を投写・視聴することができます。
① プロジェクターと 3D メガネの電源を入れます。
② 3D メガネをかけて、リモコンの［3D］ボタンを押し、プロジェクターの 3D 機能を作動させます。3D モードが作動しているとき［3D］インジケータは青く点灯します。
※［3D］ボタンを押して、立体感が感じられる設定にします。
※ 3D 機能の設定は「設定」の「3D 設定」で行います。
（☞ 89、90 ページ）

3D メガネ（例）





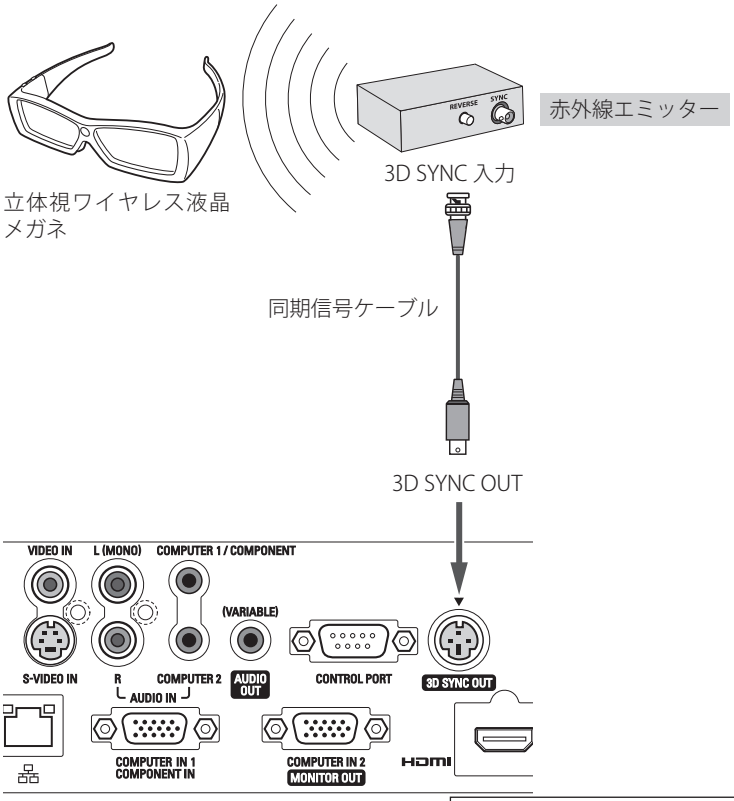


※ ボタンを押すたびにモードが切り換わります。

IR（赤外線）対応メガネのとき

IR（赤外線）に対応している 3D メガネを使用するときは、以下の手順で 3D を投写・視聴することができます。

① プロジェクターの電源を切ります。（使用中のとき）
② プロジェクターの［3D SYNC OUT］端子と赤外線エミッターをケーブルでつなぎます。
③ プロジェクター、3D メガネ、赤外線エミッターそれぞれの電源を入れます。
④ 3D メガネをかけて、リモコンの［3D］ボタンを押し、プロジェクターの 3D 機能を作動させます。3D モードが作動しているとき、［3D］インジケータは青く点灯します。
※［3D］ボタンを押して、立体感が感じられる設定にします。または赤外線エミッター側の信号を調整します。



接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

3D 視聴がうまくいかないとき

こんなとき	ここを確認してください
3D 映像にならない	**・設定が 3 D になっていますか。** 「設定」の「3D 設定」を確認してください。
左右の映像が逆になっている（正しく映らない）	**・同期が正しくありません。** 「設定」の「3D 設定」を確認してください。
メガネの映像がチカチカする（フリッカー）	**・受信可能範囲から外れていませんか。** メガネとエミッターの間に障害物があったり、受信範囲から外れていませんか。
3D メガネが機能しない	**・メガネの電池が切れていませんか。** 電池を交換してください。
	・プロジェクターの設定が 3D になっていますか。 プロジェクターの設定を確認してください。

⚠ 注意　3D 映像の視聴についてのご注意

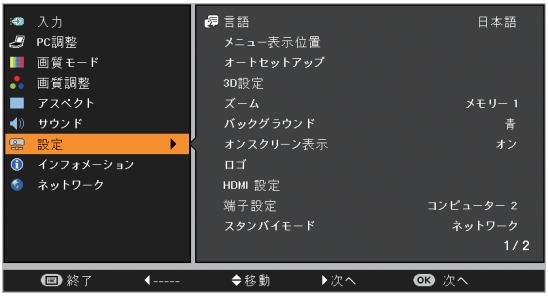
- **光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、３D 映像の視聴を控えてください。**
  病状悪化の原因となることがあります。
- **体調不良や、疲れた状態での３D 視聴を控えてください。**
  他に、睡眠不足の場合、酒気を帯びている場合も、3 D 映像の視聴を控えてください。
- **もしも以下のような症状が出た場合は、すぐに３D視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。**
  - 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
  - 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたら、使用を中止してください。
  - 回転・横揺れ・縦揺れを伴う 3D 映像コンテンツを観賞すると、自分が動いているような感覚から生じる不快感「映像酔い」が増長されることがあります。
- **長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。**
  長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- **お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。**
  お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。
  ３D映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- **３D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離でご覧ください。**
  ３D 映像を見る際は、画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約 3 倍以上が目安）から、（表示面の水平と両目の水平が近い状態で）ご覧ください。
- **映像ソースによって逆視が起こり得ます。**
  立体感を感じる様、設定を確認した上で、ご使用ください。
  逆視とは、左目用と右目用の映像が入れ替わる事で、立体感が感じにくくなり、視覚疲労や不快感の原因となることがあります。
- **３D 映像の見え具合、感じ方には、個人差があります。**
- **３D 映像を見るには、アクティブシャッター方式の 3D メガネが別途必要です（DLP-LINK、IR 方式に対応）。**
- **周辺の照明が明るいと 3D 映像が見えづらくなることがあります。**
  また、蛍光灯（50Hz）をご使用の部屋で 3D メガネを使用すると、明かりがちらついて見えることがあります。このようなときは、蛍光灯を暗くしたり、消したりしてください。

オンスクリーンメニューの操作方法

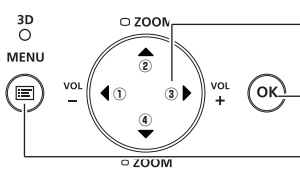
メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー) の操作は、**①ポインタを移動し**、**②ポインタの指す項目を選択する**のが基本です。

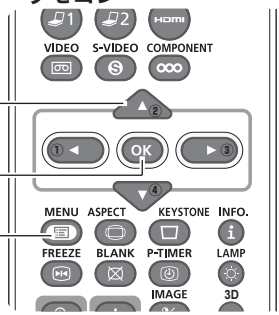
オンスクリーンメニューの例



操作パネル



リモコン



[方向] ボタン

① ② ③ ④

[OK] ボタン

[MENU] ボタン

[方向] ボタン	ポインタを上下左右に動かします。
[OK] ボタン	ポインタの指す項目を選択します。
[MENU] ボタン	オンスクリーンメニューを表示させます。

① ポインタの動かしかた

ポインタは、［方向］ボタンで上下左右に動かします。［方向］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［OK］ボタンを押します。［OK］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。（下図）
メニューには選択できる項目が表示されます。

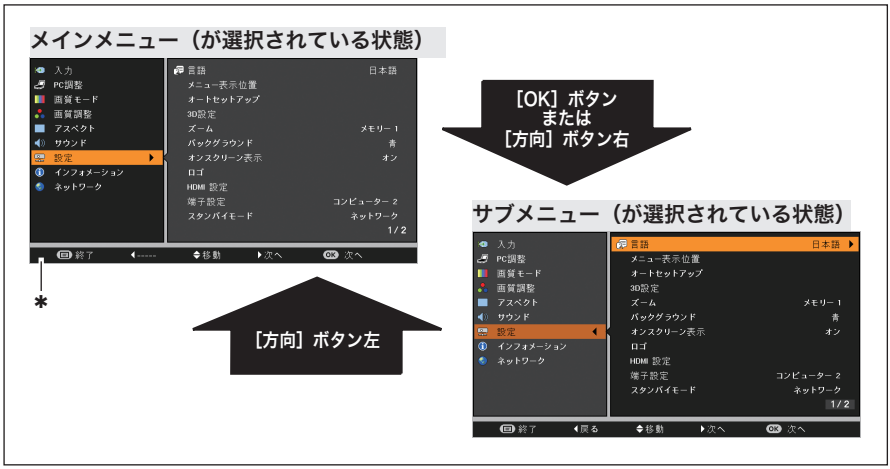
メニューを選択する

2 ［方向］ボタンの上下で選択したい項目に移動させます。
表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー（サブメニュー）が表示されます。

メニュー画面で調整や切り換えを行う

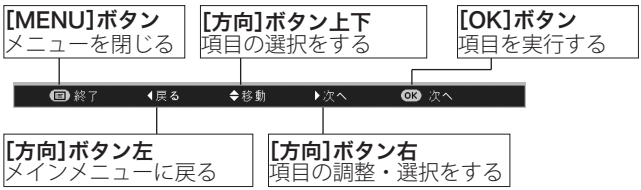
3 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、調整する項目を［方向］ボタン上下で選択します。

4 上下左右の［方向］ボタンや［OK］ボタンで、調整や切換を行います。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。また、サブメニューの次にさらに詳細な設定をするメニューが表示される項目もあります。（この説明書内では、サブメニュー１・サブメニュー２などと表現します。）



ガイド＊について

選択・実行するボタンを表示しています。
右図はサブメニューのガイド



メニュー一覧

	メインメニュー	サブメニュー
①	**入力** ☞ 64 ～ 67 ページ 入力信号の選択をします。	コンピューター 1、コンピューター 2、HDMI、ビデオ、S-VIDEO
②	**PC 調整** * ☞ 68 ～ 71 ページ お使いのコンピューターに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	オート PC、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピューター情報、クランプ、リセット、データ消去、メモリー
③	**画質モード** ☞ 72、73 ページ 画質モード選択します。	プレゼンテーション、スタンダード、ハイコントラスト、シネマ、ユーザー 1 ～ 4
④	**画質調整** ☞ 73 ～ 76 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ **、色合い **、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション **、プログレッシブ **、リセット、メモリー
⑤	**アスペクト** ☞ 77 ～ 86 ページ 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、フル、16：9、ズーム、リアル *、ピッタリワイド **、カスタム、カスタム調整、デジタルズーム＋ / － *、キーストーン、天吊り、リア投映、スクリーンアスペクト、カラーボード、リセット
⑥	**サウンド** ☞ 51、52 ページ 音量の調節や消音の切り換えをします。	音量、消音
⑦	**設定** ☞ 87 ～ 106 ページ プロジェクターの各種設定を行います。	言語、メニュー表示位置、オートセットアップ、3D 設定、ズーム、バックグラウンド、オンスクリーン表示、ロゴ、HDMI 設定、端子設定、スタンバイモード、パワーマネージメントモード、ダイレクトパワーオン、クローズドキャプション、ランプモード、リモコンコード、セキュリティ、ファン、ファン制御、ランプカウンター、フィルターカウンター、初期設定

	メインメニュー	サブメニュー
⑧	**インフォメーション** 61 ページ 投写中の信号状況と設定の状況を表示します。	入力、水平周波数、垂直周波数、アスペクト、言語、ランプ状態、ランプカウンター、パワーマネージメントモード、キーロック、暗証番号ロック、リモコンコード、SERIAL NO.

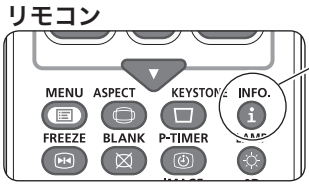
✻ コンピューター画面のときのみ表示、または選択可
✻✻ ビデオ画面のときのみ表示、または選択可
✻ 『ネットワーク使用説明書 (別冊)』をご覧ください。

投写中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投写中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

1 リモコンまたは操作パネルの［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で［インフォメーション］を選択します。

2 サブメニューに、以下の内容が表示されます。

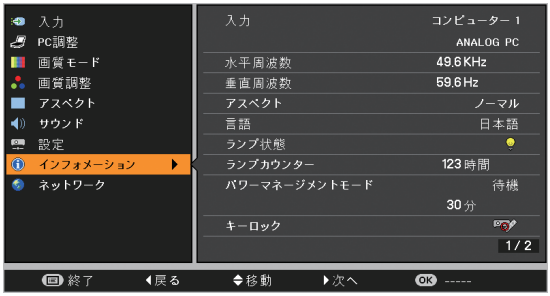


[INFO.] ボタン
リモコンの［INFO.］ボタンで直接選択、表示させることができます。
※［INFO.］ボタンは操作パネルにはありません。

インフォメーションの項目

入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 投写中の信号の種類
水平周波数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （およその目安の数値です）
垂直周波数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （およその目安の数値です）
アスペクト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 選択中の画面サイズ
言語 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 選択中の言語
ランプ状態 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 選択中のランプモード
ランプカウンター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ランプの実使用時間を表示します。
パワーマネージメントモード・・・・ 設定内容が表示されます。
キーロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ キーロックの設定状況が表示されます。
暗証番号ロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 暗証番号ロックの設定状況が表示されます。
リモコンコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 設定されているリモコンコードを表示します。
SERIAL NO. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ （英数字）

※ ランプは交換推奨時間、フィルターは清掃推奨時間に達すると時間を赤色で表示します。
※ ランプの使用時間や、周波数などが読み取り不可能なときは「---」で表示します。



［方向ボタン］左 ↓ ↑ ［方向ボタン］右

※「インフォメーション」を閉じたいときは、
- ［方向］ボタンの上下を押すと他のメニューに移ります。
- リモコンの［INFO.］ボタンを押すとメニュー画面ごと消えます。1/2 が表示されているときは、ボタンを 2 回押します。（1 回のときは 2/2 ページを表示します。）

こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投写できないなどのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

入力の選択・設定・調整

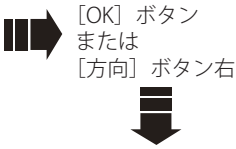
入力信号の選択や、メニュー画面の説明と設定の手順を説明します。

入力を切り換える …… 64
システムモードの選択
～コンピューター …… 66
PC 調整メニュー …… 68
投写画面の調整 …… 72
画面サイズの選択・調整 …… 77
設定で詳細な設定・
調整をする …… 87
リモコンのボタンの
便利な機能 …… 107

入力を切り換える

「入力」メニューで入力を切り換える

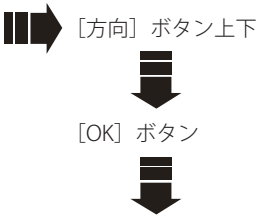
1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。



※ 緑色のボタンが現在選択されている項目です。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを投写したい入力に合わせ、［方向］ボタン右を押すと、信号選択メニュー（サブメニュー 2）が表示されます。

※［OK］ボタンを押すと、インプットが選択されるだけになります。



3 信号選択メニューが表示されたら、［方向］ボタンの上下で信号を選択し、［OK］ボタンを押します。［方向］ボタン左でメニューに戻ります。

コンピューター 1

ANALOG PC　［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子にコンピューターのアナログ信号が接続されているときに選択します。

COMPONENT　［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子にコンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

SCART　［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］端子に映像機器の SCART 映像出力✻が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

✻ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの［COMPUTER IN 1/COMPONENT］を専用のケーブルで接続します。［COMPUTER IN 1/COMPONENT］で再生される RGB SCART 信号は 480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピューター 2

［COMPUTER IN 2/ MONITOR OUT］端子に、コンピューターのアナログ信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

※「設定」内の「端子設定」で「モニター出力（☞ 96 ページ）」を選択している場合は、「コンピューター 2」はグレーで表示され選択できません。

HDMI

［HDMI］端子に、HDMI 対応のデジタル信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

ビデオ

［VIDEO IN］端子に、ビデオ入力信号が接続されているときに選択します。
（信号選択メニューは表示されません）

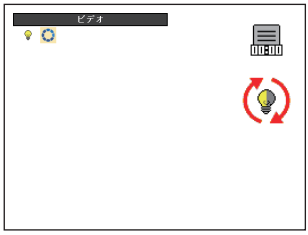
S-VIDEO

［S-VIDEO IN］端子に S 映像信号が接続されているときに選択します。
（信号選択メニューは表示されません）

※［COMPUTER IN 1/COMPONENT IN］にビデオ機器からのコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピューター 1」から「Component」を選択します。

エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により右図のような「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります
☞ 110、113 ページ
※ 表示は約 4 秒間出ます。



フィルター警告とランプ交換の表示

システムモードの選択　～コンピューター

システムモードが自動選択されます

マルチスキャンシステム

本機は接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するシステム モード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピューター画面を投写することができます。☞ 124～128 ページ
選択されたシステムモードは、サブメニューの「システム」に表示されます。

システムモードを選択する

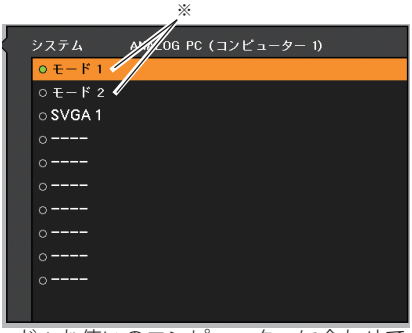
1 ［MENU］ボタンを押してメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。

2 ［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「コンピューター 1」に合わせ［OK］ボタンを押します。

3 ［方向］ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」に合わせ、［OK］ボタンを押します。
システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。

［OK］ボタン
または
［方向］ボタン右

4 ［方向］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［OK］ボタンで選んでください。



［方向］ボタン上下

［OK］ボタン

※ カスタムモード：お使いのコンピューターに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞ 68～71 ページ

5 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニューに戻ります。

システムに表示されるメッセージ

Auto ・・・接続されたコンピューターの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、オート PC 機能が働き、システムに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されないときは、お使いのコンピューターに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード※」に登録してください。☞ 68～71 ページ

---- ・・・コンピューターの入力信号がありません。接続を確認してください。☞ 34 ページ

モード 1 ・・・マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

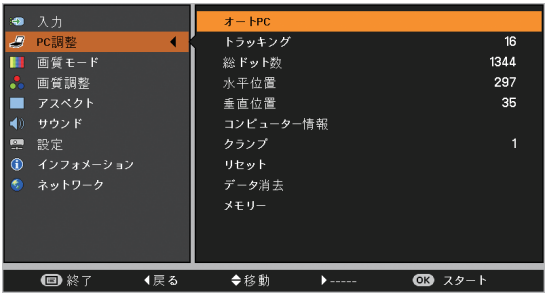
PC 調整メニュー

メニューから調整する

オート PC

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「オート PC」に合わせ、［OK］ボタンを押すと自動調整を実行します。



※ オート PC 機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピューターもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。☞ 68 ～ 71 ページ

※ 自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、「マニュアル PC 調整の手順 3-3、メモリー」の項目をご覧ください。

※ 480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p の信号が入力されているときは、オート PC 機能は働きません。

※ ご使用のコンピューターまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

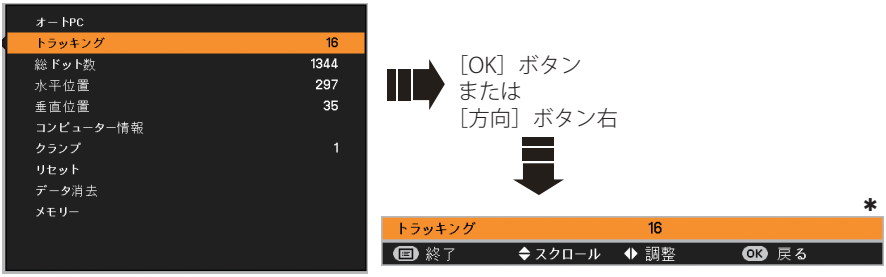
本機は、接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピューターによっては自動選択できないものもあります。サブメニュー下方にある「システム」に「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、サブメニュー 2 で選択できます。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを調整したい項目に合わせ、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押すと調整したい項目の詳細メニュー＊が現れます。調整は画面を見ながら［方向］ボタンの左右で行います。

※ 詳細メニュー表示で［方向］ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りすることができます。



3 -1 リセット

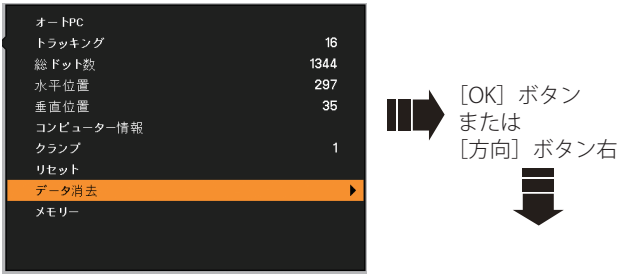
① ポインタを「リセット」に合わせ、［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

3 -2 データ消去

① ポインタを「データ消去」に合わせ、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。



② ［方向］ボタンの上下で消去したいモードを選択し［方向］ボタン右、または［OK］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

※ 登録されるとモード番号の後ろに「データあり」と表示されます。

③「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー 2 に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

④ ［方向］ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

3 -3 メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で登録したいモードを選択し［方向］ボタン右、または［OK］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

④ ［方向］ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

項　目

操作手順

① ポインタを項目に合わせ、［OK］ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で調整します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

※ 詳細メニュー表示で［方向］ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りで表示されます。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。
(0 から 31 まで)

※ コンピューターによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

※ 480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p の信号が入力されているときは、グレーで表示され選択できません。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

※ 480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p の信号が入力されているときは、グレーで表示され選択できません。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピューター情報

現在接続しているコンピューターの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

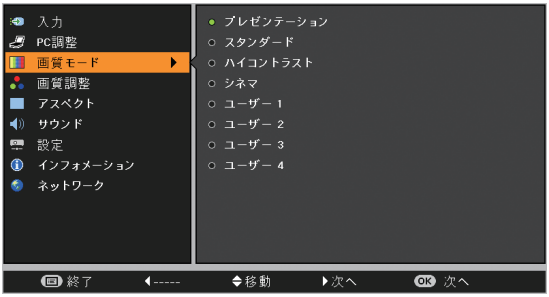
クランプ位置を調整します。
投写している映像に暗い線が出ているときに使います。

投写画面の調整

画質モードで画像イメージを選択する

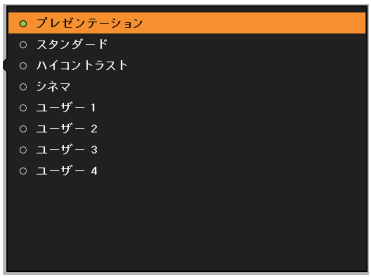
1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「画質モード」メニューを選択します。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、お好みのモードに合わせ、［OK］ボタンを押します。



※ 緑色のボタンが現在選択されている項目です。

［OK］ボタン
または
［方向］ボタン右



［方向］ボタン上下

［OK］ボタン

プレゼンテーション

「スタンダード」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

スタンダード

「画質調整」メニューの項目が、工場出荷時の設定値になります。

ハイコントラスト

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

ユーザー 1～4

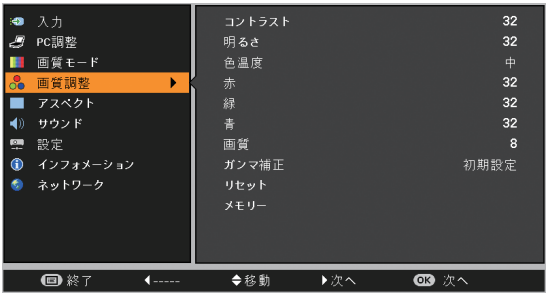
イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

画質調整で画像イメージを調整する

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「画質調整」メニューを選択します。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを調整したい項目に合わせ、［OK］ボタンを押すと調整したい項目の詳細メニュー（次ページ＊図）が現れます。調整は画面を見ながら［方向］ボタンの左右で行います。



［OK］ボタン
または
［方向］ボタン右

※［方向］ボタンの左右：表示中の項目を調整する
※［方向］ボタンの上下：項目を順送りする

3 -1 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

3 -2 メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に「ユーザー 1 ～ 4」の登録内容が表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で登録したいモードを選択し［方向］ボタン右、または［OK］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③ 「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー 2 に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すと「ユーザーイメージ登録画面」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

項　目

操作手順

① ポインタを項目に合わせ、[OK] ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。

② ［方向］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

③ ［OK］ボタンを押すとサブメニューに戻ります。

※ 詳細メニュー表示で［方向］ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りで表示されます。

コントラスト

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる（0 ～ 63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0 ～ 63）

色の濃さ

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる（0 ～ 63）

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ 480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p の信号が入力されているときは、グレーで表示され選択できません。

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0 ～ 63）

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ 480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p の信号が入力されているときは、グレーで表示され選択できません。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）～高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも）の調整をすると「ユーザー」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる（各色 0 ～ 63）

画質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0 ～ 15）

ガンマ補正

暗部の明るさを調整します。

（初期設定 / 1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / 2.6）

初期設定 ・・・画質モードごとに最適な設定をします。

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1 ・・・ノイズリダクション：弱

L2 ・・・ノイズリダクション：強

※ 入力信号が 1080p、480p、575p、720p のとき、またはコンピューター入力のときはグレーで表示され選択できません。
※「設定」の「3D 設定」で「３D･オンまたは NVIDIA 3D VISION」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは「オフ」に設定してください。

L1 ・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2 ・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム ・・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投写するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

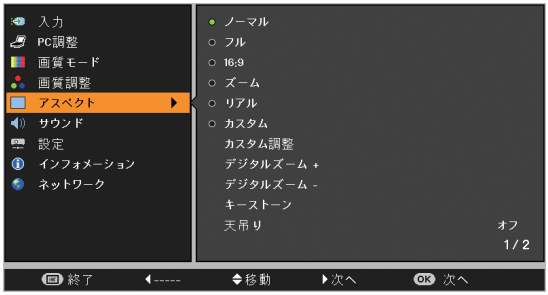
※ 入力信号が 1080p、480p、575p、720p のとき、またはコンピューター入力のときはグレーで表示され選択できません。
※「設定」の「3D 設定」で「３D･オンまたは NVIDIA 3D VISION」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。
※ 入力信号が 1080i のときに選択できるのは「オフ /L1/L2」です。
※ 切り換えの際、一瞬画像が乱れます。

画面サイズの選択・調整

アスペクトメニュー

お好みにより、画面サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「アスペクト」メニューを選択します。



［OK］ボタン
または
［方向］ボタン右

※ 緑色のボタンが現在選択されている項目です。

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入り、アスペクトモードを選択し、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押します。

※ リモコンの［ASPECT］ボタンで直接選択、表示させることができます。☞ 50 ページ

アスペクトメニュー（コンピューター入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投写します。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

16：9

アスペクト比、横 16：縦 9 のワイド画面で投写します。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

※「スクリーンアスペクト」で「16:9」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。

ズーム

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクト比いっぱいに投写します。

※ 入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。

※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

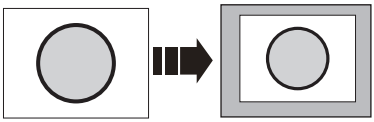
リアル

*1280 x 800 ドット

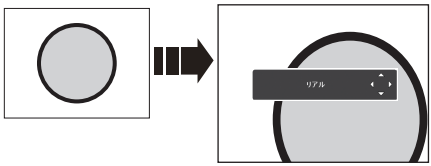
画像を入力信号の解像度のまま表示します。
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

① 画像サイズがパネル解像度 * よりも小さいときは、画面の中央に投写し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。
② 画像サイズがパネル解像度 * と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投写されます。
③ 画像サイズがパネル解像度 * よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面に下図 * が表示されます。［方向］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

パネル解像度 * より小さいとき



パネル解像度 * より大きいとき



※ 補正された方向の矢印は青く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投写します。
※ 入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。

カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。（ 操作手順は 81 ～ 83 ページ）

デジタルズーム＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom ＋」表示が現われます。
［OK］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［方向］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズがパネル解像度 * よりも大きいときのみ働きます。

デジタルズームー

「デジタルズームー」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom ー」表示が現われます。
［OK］ボタンを押すごとに画像が縮小します。

※ 入力信号がないときは「デジタルズーム ＋ / ー」はグレーで表示され選択できません。
※「リアル」を選択しているときは「デジタルズーム　＋ / ー」は選択することができません。
※「デジタルズーム ＋ / ー」から抜けるときは［D.ZOOM、OK、方向］以外のボタンを押します。
※「カスタム」を選択しているときは「デジタルズームー」は「ノーマル」の画面の大きさ以下への縮小ができません。
※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピューターのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム ー」モードのときの画像の移動機能は正しく働かないことがあります。
※ リモコンの［D.ZOOM ▲▼］ボタンで直接調整することもできます。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。（ 操作手順は 83、84 ページ）

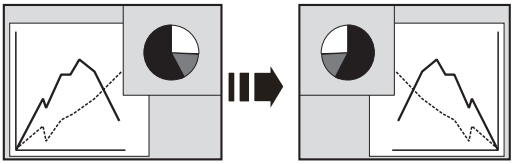
天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投写します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投写します。
透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。

オフ (通常の画像)　　**オン (リア投映設定時)**



スクリーンアスペクト

入力信号にかかわらず、選択されたスクリーンアスペクトで投写します。
（ 操作手順は 84 ページ）

カラーボード

スクリーンの準備ができないときなどに、色のついた壁などに投写するとき、白いスクリーンに投写したときに近い色合いを再現します。（ 操作手順は 84、85 ページ）

リセット

「アスペクト」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。
（ 操作手順は 85 ページ）

アスペクトメニュー（ビデオ系入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投写します。
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

16：9

アスペクト比、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。スクイーズ信号（横 16：縦 9 の映像を、横 4：縦 3 に横方向に圧縮した信号）が適正なサイズで見ることができる設定です。
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

ズーム

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクト比いっぱいに投写します。
※ 入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

ピッタリワイド

中心部はあまり変えずに左右を拡大し自然な映像になるように投写します。
（縦 16：横 9）
※ 入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。
※「スクリーンアスペクト」で「16：9、4：3」を選択しているときはグレーで表示され選択できません。（入力信号が 480i/575i/480pi575p のときは選択できます。）

カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投写します。
※ 入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。
※ ズーム機能で画面の大きさを変更しているときに、「カスタム」を選択したときは、ズームは解除されます。

カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。（ 操作手順は 81 ～ 83 ページ）

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。（ 操作手順は 83、84 ページ）

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投写します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投写します。
透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。

スクリーンアスペクト

入力信号にかかわらず、選択されたスクリーンアスペクトで投写します。
（操作手順は 84 ページ）

カラーボード

スクリーンの準備ができないときなどに、色のついた壁などに投写するとき、白いスクリーンに投写したときに近い色合いを再現します。（操作手順は 84、85 ページ）

リセット

「アスペクト」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。
（操作手順は 85 ページ）

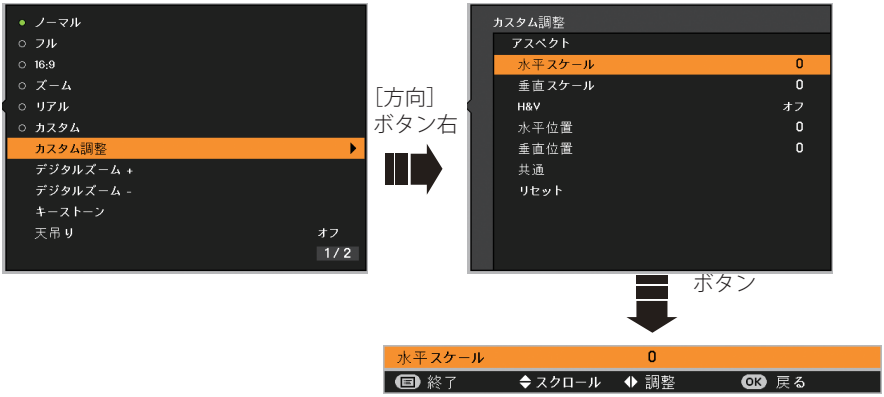
操作手順（カスタム調整・キーストーン・スクリーンアスペクト・リセット）

カスタム調整

1 ［方向］ボタン右を押します。
※［OK］ボタンを押すとアスペクトモードの「カスタム」を選択することになります。

2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。

3 ［方向］ボタンの上下で項目を選択し、［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。



※「H&V」は［OK］ボタン押して、サブメニュー 2 上で調整します。
※ 詳細メニュー表示で［方向］ボタンの上下を押すと、「H&V、共通、リセット」以外のメニューが順送りで表示されます。

4 ［方向］ボタンの左右で調整し、［OK］ボタンまたは［方向］ボタンの左でサブメニューに戻ります。

※ 無信号時はグレーで表示され選択できません。
※ 無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

水平スケール

水平のスケールを調整します。

［OK］ボタンを押して設定画面に入り、［方向］ボタンの左右で調整します。［OK］ボタンでサブメニューに戻ります。

垂直スケール

垂直のスケールを調整します。

［OK］ボタンを押して設定画面に入り、［方向］ボタンの左右で調整します。［OK］ボタンでサブメニューに戻ります。

H＆V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で「オン･オフ」を選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※「水平スケール」で調整し、数値の変化に合わせて「垂直スケール」の数値も変化します。

水平位置

水平位置を調整します。

［OK］ボタンを押して設定画面に入り、［方向］ボタンの左右で調整します。［OK］ボタンでサブメニューに戻ります。

垂直位置

垂直位置を調整します。

［OK］ボタンを押して設定画面に入り、［方向］ボタンの左右で調整します。［OK］ボタンでサブメニューに戻ります。

共通

調整した内容を全ての入力に反映します。**

［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと登録されます。
（自動的にサブメニューに戻ります。）

リセット

調整した内容を全てリセットします。

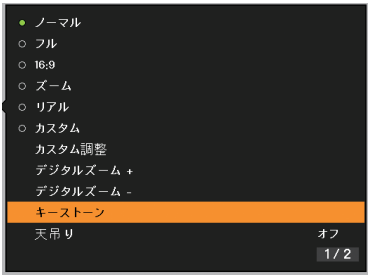
［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押すとリセットされます。
（自動的にサブメニューに戻ります。）

** たとえば、コンピューター入力で「水平スケール」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「水平スケール」に「2」が表示されている、ということです。

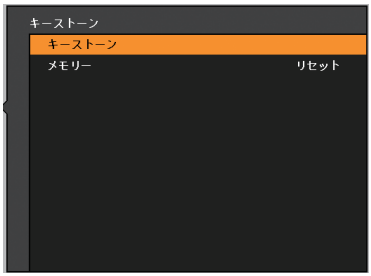
キーストーン

1 ポインタを「キーストーン」に合わせて［OK］または［方向］ボタン右を押します。

2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。



［OK］ボタンまたは
［方向］ボタン右



3 ［方向］ボタンの上下で項目を選択し、［OK］または［方向］ボタン右を押します。

キーストーン

垂直方向のキーストーン補正をします。

「*3*」で「キーストーン」を選択し［OK］ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現れます。［方向］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）のときは表示されません。
※ 補正された方向の矢印は青く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※ 表示が現れているあいだに、リモコンの［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

メモリー

補正した状態を保存します。

①「*3*」で「メモリー」を選択し［OK］ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。
②［方向］ボタンの上下で選択します。
③［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

メモリー ・・・ 電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ・・・ 電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

スクリーンアスペクト

［OK］ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー上に表示されます。［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

初期設定（16：10） ・・・ 16：10 スクリーンオリジナル

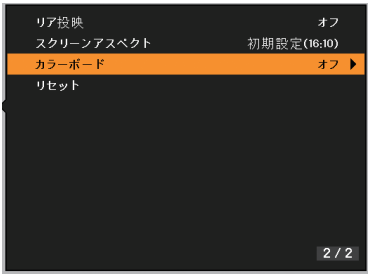
16：9 ・・・ 16：9 スクリーン固定

4：3 ・・・ 4：3 スクリーン固定

※ ズーム機能で画面の大きさを変更しているときに、「16：9 または 4：3」を選択したときは、ズームは解除されます。

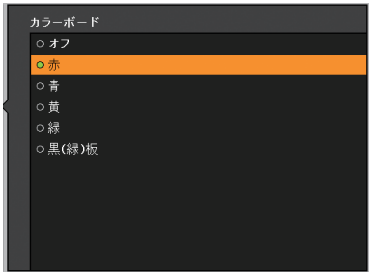
カラーボード

1 ポインタを「キーストーン」に合わせて［OK］または［方向］ボタン右を押します。



［OK］ボタンまたは
［方向］ボタン右

2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。



［方向］ボタン上下

［OK］ボタン

選択肢：オフ / 赤 / 青 / 黄 / 緑 / 黒（緑）板

3 ［方向］ボタンの上下で選択し、［OK］ボタンを押して決定します。

4 ［方向］ボタン左でサブメニューに戻ります。

リセット

1 ポインタを「リセット」に合わせて［OK］ボタンを押します。

2 「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

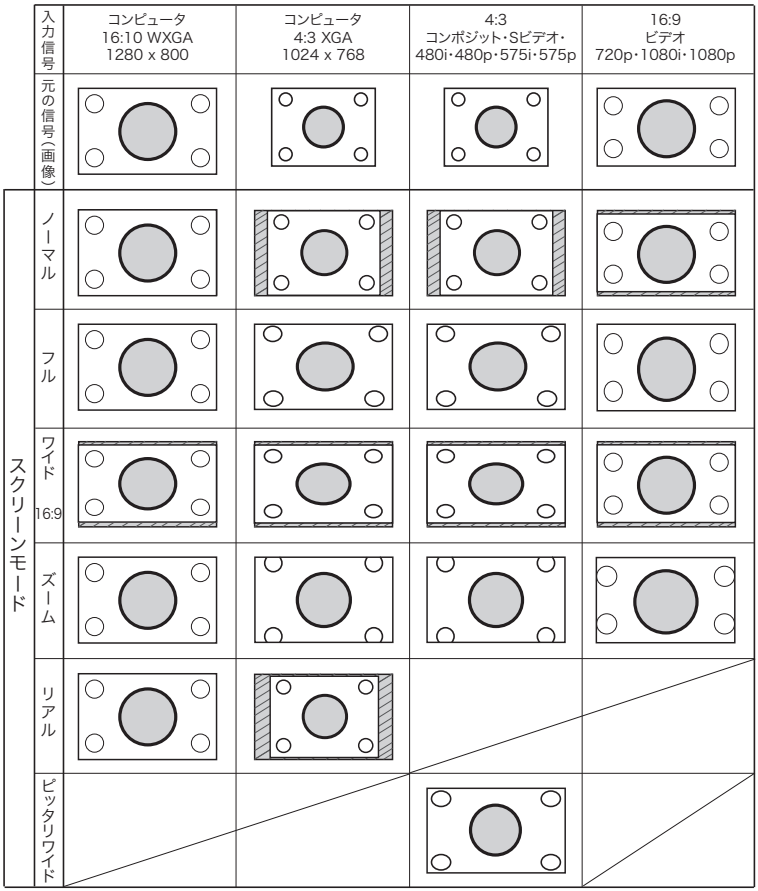
3 「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［OK］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

※ リモコンの［ASPECT］ボタンを 5 秒以上押しても、リセットされます。☞ 50 ページ

投写画面の一覧

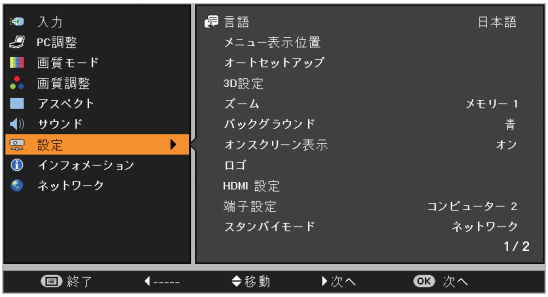
※ 下表は「スクリーンアスペクト」が「初期設定（16：10）」のときのイメージです。
実際の投写画面（画像）とは異なる場合があります。



※「スクリーンアスペクト」が「16：9」または「4：3」のときは、設定したアスペクトにしたがって画面が調整されます。
※「リアル」はコンピューター入力のときのみ、「ピッタリワイド」はビデオ入力のときのみメニューに表示されます。

設定で詳細な設定・調整をする

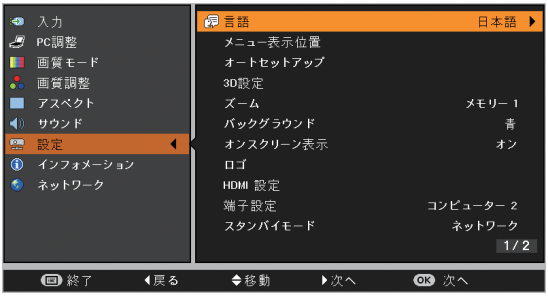
1 ［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［方向］ボタンの上下で「設定」メニューを選択します。



［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右

2 ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン右でサブメニュー内に入ります。［OK］ボタンや「方向」ボタンの右で、選んだ項目の設定の切り換えを行います。

※ 項目によっては、詳細なサブメニュー 2 が出ます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。
英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、ブラジルポルトガル語、トルコ語、アラビア語、カザフ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語、タイ語の 24 か国語の中から選べます。

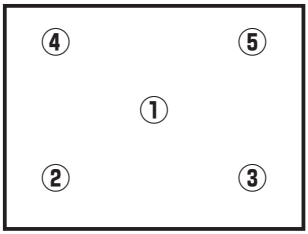
① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2（言語選択メニュー）が表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンで決定します。

③ ［方向］ボタン左でサブメニューに戻ります。

メニュー表示位置

オンスクリーンメニューの表示位置の設定を変えることができます。

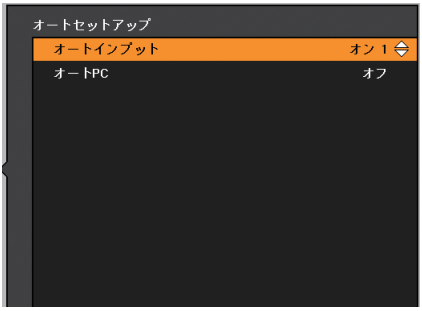


［OK］ボタンを押すたびに、図の番号順にメニュー画面が移動します。

オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行います。

1 ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。



2 ［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンで決定します。

3 ［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

オートインプット

信号の有無を検出し、入力のある信号で自動的に止まる機能です。

［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

オフ ・・・「オートインプット」は作動しません。

オン 1 ・・・操作パネルの［AUTO SETUP］、リモコンの［AUTO SET］ボタンを押したときに作動します。

オン 2 ・・・以下のときに作動します。

① リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ POWER］ボタンで電源を入れたとき。

② 操作パネルの［AUTO SETUP］、リモコンの［AUTO SET］ボタンを押したとき。
③ プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなったとき。

※「オン 2・①」のとき、「暗証番号ロック・オン（☞ 100、101 ページ）」に設定して暗証番号を入力しても「オートインプット」は作動しません。
※「オン 2・③」のとき、オンスクリーンメニューが表示されているときに信号が入力されなくなったときは作動しません。その後メニューを消しても作動しません。
※「FREEZE（☞ 107 ページ）」または［Blank（☞ 107 ページ）］実行中に信号が入力されなくなったときは、それぞれが解除されてから検出動作を開始します。
※「オートインプット」が作動している途中に操作パネルの［AUTO SETUP］ボタン、リモコンの［AUTO SET］、［COMPUTER1/2］、［VIDEO］、［S-VIDEO］、［COMPONENT］、［HDMI］ボタンを押すと、検出動作を停止します。
※ RGB 入力はセパレートシンクのみに対応しています。
※ 変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

オート PC

［OK］ボタンを押すと、▲▼がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

オフ ・・・ 動作設定を行いません。

オン ・・・ オート PC を行います。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

3D 設定

3D 機能の詳細な設定をします。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
② ［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンで決定します。
③ ［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※ 本機が対応できる 3D 映像信号入力は、フレームシーケンシャル方式のみで、フレームパッキング方式やサイドバイサイド方式など、その他の方式には対応していません。
※ この機能の設定をするときは 53 ～ 56 ページの「3D 映像を視聴する」もお読み下さい。

3D

この機能を「オン」にすると、3D モードが有効になります。

［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で「オン・オフ・NVIDIA 3D VISION」を選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※「NVIDIA 3D VISION」は NVIDIA® 社の 3D VISION 製品をご使用になるときに選択します。

※「オン･NVIDIA 3D VISION」のときは「FREEZE」時も 3 D が有効ですが､「ロゴ､キャプチャー」時は無効になります。

※「オフ・NVIDIA 3D VISION」のときは「3D 同期設定、3D → 2D、3D 位相調整」はグレーで表示され選択できません。

3D 同期設定

左右の画像の切換をします。

［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で「1・2」を選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※ 映像ソースによって逆視が起こり得ます。
立体感を感じる様、設定を確認した上で、ご使用ください。
逆視とは、左目用と右目用の映像が入れ替わる事で、立体感が感じにくくなり、視覚疲労や不快感の原因となることがあります。

※ この機能は、左右の目に与えるべき映像が左右入れ換わった状態（正しく同期がとれていない状態。）に左右の映像を入れ換える設定です。
3D メガネをつけて見ている 3D 映像に違和感を感じるときに「1」と「2」を切り換えてください。

3D → 2D

この機能を「オン」にすると、3D の片目分の映像だけを表示します。

［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で「オン・オフ」を選択します。［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

3D 位相調整

［3D sync out］端子を使用しているときに調整・使用する項目です。
0 ～ 31 の間で調整します。

ズーム

［ZOOM］ボタン（☞ 47 ページ）で調整した画面サイズは以下の設定でリセットまたは記憶することができます。

リセット ･･･ 電源切ると調整した状態がリセットされます。

メモリー 1 ･･･ 電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

メモリー 2 ･･･ 電源コードを抜いても調整した状態を記憶しています。

バックグラウンド

信号のないときの背景画面（「青 / ユーザー / 黒」）を選択します。

① ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー上に表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で選択します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずに選択した画面を投写します。
※「ユーザー」はキャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

① ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー上に表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で選択します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

オフ ・・・ 以下の画面表示以外は出しません。

- メニュー表示 ☞ 59、60 ページ
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 ☞ 44 ページ
- プレゼンテーションタイマーのタイマー表示 ☞ 108 ページ
- オート PC の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメントモード時のタイマー表示 ☞ 45 ページ
- 画面サイズがパネル解像度（1280 × 800 ドット）より大きいとき表示される「△」の矢印 ☞ 47、78 ページ

カウントダウン オフ ・・・ ランプ点灯後、約 30 秒間のカウントダウンを表示せず、すぐに投写します。

投写画面が少し暗くても早く映像を投写したいときに選択します。

オン ・・・ すべての画面表示を出します。

ある程度投写画面が明るくなってから、映像を投写したいときに選択します。

ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

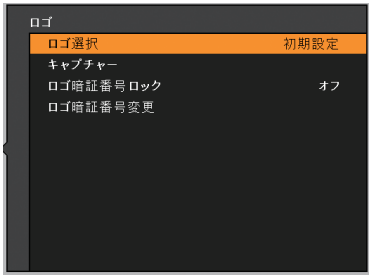
③［方向］ボタンの上下で選択します。

④［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。



オフ ・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

ユーザー ・・・ キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・ 工場出荷時の画像 (CANON ロゴ) を表示します。

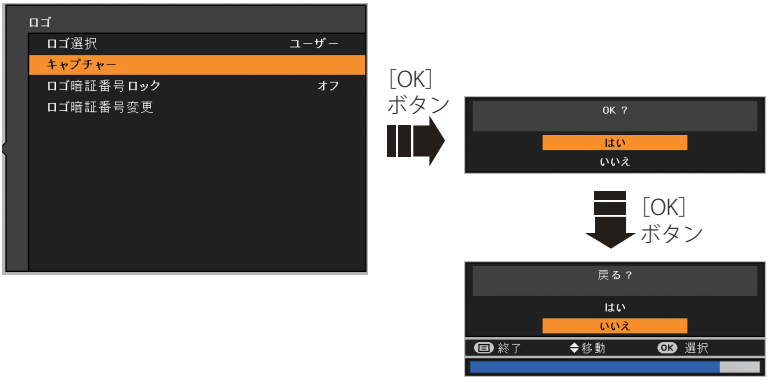
※ キャプチャー機能で取り込んだ画像がないときは「ユーザー」は選択できません。

キャプチャー

投写している画面を静止画像として取り込むことができます。
取り込んだ画像はスタートアップロゴ（「ロゴ選択」）や、背景画面（「バックグラウンド」）に設定することができます。

手　順

①［方向］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。



はい ・・・ 画面の取り込みを始めます。

いいえ ・・・ キャプチャー機能を取り消します。

② 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」* を選択し［OK］ボタンを押します。

ご注意 *

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

※「ユーザー」へ保存できるのは 1 画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、「画質モード」は「スタンダード」を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」「カスタム」調整を一時的に解除します。
※ キャプチャー可能な信号は、パネル解像度（DLP チップ 1200 × 800 ドット）以下の信号です。

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できないようにします。設定により以下のモードが選択できます。

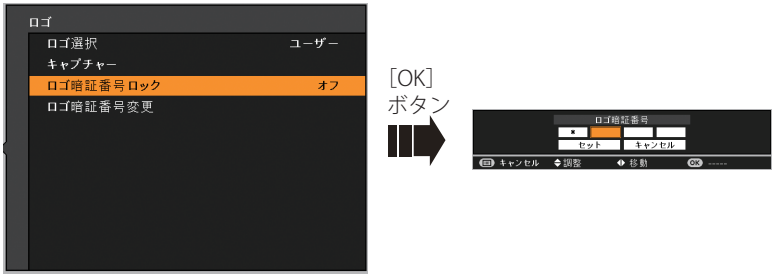
オフ ・・・ 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

オン ・・・ 暗証番号を入れないと、「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

手　順

1 ［方向］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「入力方法」を参照してください。



3 暗証番号が承認されると、サブメニュー 2 に戻り、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができるメニュー表示が現れます。

4 「オン・オフ」は［方向］ボタンの上下で切り換え、選択します。

入力方法

① ［方向］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[方向] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

② 4 けた全ての数字を入力したら、ポインタを [方向] ボタン右で「セット」に移動します。

③ [OK] ボタンを押して決定します。

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［方向］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [方向] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

ロゴ暗証番号変更

1 ［方向］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを押します

2 暗証番号を入力します。「新ロゴ暗証番号」の画面表示が現れます。

3 暗証番号を変更します。

※ 次ページの「入力方法」を参照してください。

4 [OK] ボタンを押して決定します。

5 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［方向］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 サブメニュー 2 に戻ります。

入力方法

① ［方向］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、［方向］ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
② 4 けた全ての数字を入力したら、ポインタを [方向] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［方向］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［OK］ボタンを押します。サブメニュー 2 に戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［方向］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [方向] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。

HDMI 設定

［HDMI］端子を使って、DVD プレーヤなど HDMI 映像出力機器の信号を投写する場合、プロジェクターの HDMI 入力を、DVD プレーヤなど HDMI 映像出力機器の出力信号に合わせてください。HDMI 映像出力機器の出力形式と、プロジェクターの入力信号形式が合っていないと、最良な映像が投写されない場合があります。

① [OK] ボタンを押すとサブメニュー 2 が表示されます。
② [方向] ボタンを上下で設定したい項目を選択し、[OK] ボタンを押します。

イメージ

HDMI 映像出力機器から出力される Digital R/G/B 映像レベルの設定を選択します。

標　準 ・・・ HDMI 映像出力機器の出力が「標準（NORMAL）」に設定されている場合。

拡　張 ・・・ HDMI 映像出力機器の出力が「エンハンスト（ENHANCED）」に設定されている場合。

※ HDMI 映像出力機器の出力設定の呼称は機器によって異なります。詳しくは、HDMI 映像出力機器の使用説明書をごらんください。

サウンド

HDMI 映像出力機器から出力される音声入力を選択します。

HDMI ・・・ HDMI 出力機器から HDMI ケーブルで接続している場合は、こちらを選択します。映像と音声が伝送されますので、別途音声信号を接続する必要はありません。

コンピューター 1 ・・・ コンピューターから DVI-HDMI(変換) ケーブルで接続している場合は、こちらを選択します。映像信号しか伝送されませんので、別途［COMPUTER/COMPONENT AUDIO1］端子に音声信号を接続する必要があります。

端子設定

本機の［COMPUTER IN 2/MONITOR OUT］端子の切り換えを行います。
入力端子として端子を使用するためには、「コンピューター 2」を、「コンピューター 1」の「RGB」の出力端子として使用するためには、「モニター出力」を選んでください。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 工場出荷時は「コンピューター 2」に設定されています。
※「入力」で「コンピューター 2」を選択しているときはこの項目は選択できません。
※ 入出力兼用端子である「コンピューター 2」は、EDID＊ をサポートしておりません。したがって、ご使用のコンピューターによっては、端子接続後に適切な解像度に合わせることが必要となる場合があります。解像度調整については、ご使用のコンピューターの説明書をご参照ください。
＊EDID(Extended display identification data)：接続先のモニターの機種名や設定値をコンピューターに伝えるディスプレイ固有の ID。

スタンバイモード

待機中の消費電力の設定をする機能です。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で選択します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

エコ ・・・ 待機電力が小さくなります。

※ 電源が切れている（スタンバイ）状態からネットワーク経由で電源を入れることはできません。電源が入っていればネットワーク経由での操作は可能です。

※ このとき以下の動作が制限されます。

・シリアルコマンド制御（電源・入りのみ可能）、PJ-Net による制御、MONITOR OUT、AUDIO OUT が制御不可になります。

ネットワーク ・・・ 待機電力が大きくなります。

パワーマネージメントモード

パワーマネージメントモード機能の動作設定を行います。

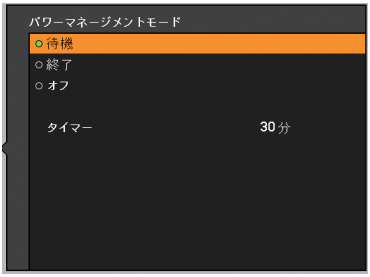
① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ パワーマネージメントモード動作詳細については 45 ページを参照してください。



ランプ消灯までの時間

オフ ・・・ パワーマネージメントモード機能を解除します。

待機 ・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

終了 ・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマー ・・・ 1 ～ 30 分の範囲で設定できます。

※ 工場出荷時は「終了・30 分」に設定されています。
※「FREEZE（☞ 107 ページ）、Blank（☞ 107 ページ）」機能が働いているときは、パワーマネージメントモードは動作しません。
※ パワーマネージメントモードが働くと、「プレゼンテーションタイマー（☞ 108 ページ）」はリセットされます。

ダイレクトパワーオン

電源コードを接続すると、リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で選択します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

オフ ・・・ 通常の電源の入り・切りを行います。
電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

オン ・・・ 電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行ってください。

ランプの冷却が終わり再点灯できる状態になるまで、リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。

クローズドキャプション

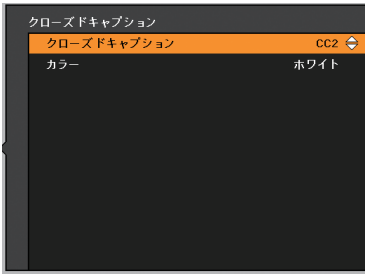
クローズドキャプションの表示の選択と、表示する色を設定します。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。



クローズドキャプション ・・・「オフ /CC1 ～ CC4」

カラー ・・・「カラー / ホワイト」

※ 工場出荷時は「オフ」/「カラー」に設定されています。
※ この機能が使えるのは入力信号がコンポジット、S- ビデオのときです。
※ メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

ランプモード

ランプの明るさを「ノーマル、エコ」モードの 2 段階で切り換え・選択することができます。
ご使用環境に合ったモードを選択・ご使用ください。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

明るい表示・・・ノーマルモード

上部がグレーの表示・・・エコモード

※ 消費電力を抑えたいときには「エコ」モードをおすすめします。
※［方向］ボタンの上下で順に表示が切り換わります。

リモコンコード

本機は 2 種類のリモコンコード（「コード 1、コード 2」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

② ［方向］ボタンの上下で「コード 1、2」のいずれかを選択します。

③ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。
※ リモコンコードをコード 2 に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。リモコンのコードの切り換えは、リモコン本体で行います。
30 ページ

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

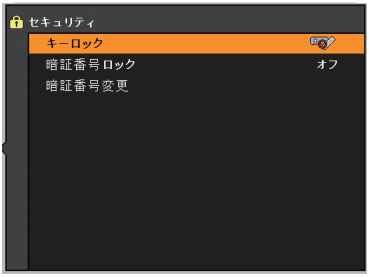
② ［方向］ボタンの上下で選択します。［OK］ボタンで決定します。

③ ［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

① ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で選択します。



② ［OK］ボタンを押すと「OK ？」の表示が現れます。

③「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。

※「いいえ」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。設定する項目を選び直してください。

・・・キーロックは「オフ」の状態です。

・・・操作パネルからの操作をロックします。

・・・リモコンの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

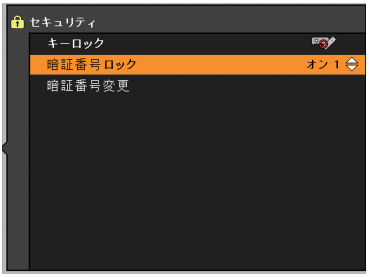
暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン 1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン 2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。



暗証番号ロックの「オン 1」、「オン 2」いずれかが選択されていることを表しています。

手　順

1. ［方向］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
   ※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。
2. 暗証番号を入力します。
   ※ 次ページの「入力方法」を参照してください。
3. 暗証番号が承認されると、サブメニュー 2 に戻り、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができるメニュー表示が現れます。
4. 「オン・オフ」は［方向］ボタンの上下で切り換え、選択します。

入力方法

① ［方向］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[方向] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

② 4 けた全ての数字を入力したら、ポインタを [方向] ボタン右で「セット」に移動します。

③ [OK] ボタンを押して決定します。

※ 工場出荷時の暗証番号の数字は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［方向］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは、[方向] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

暗証番号変更

1 ［方向］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを押します。

2 暗証番号を入力します。「新暗証番号」の画面表示が現れます。

3 暗証番号を変更します。

※ 上記の「入力方法」を参照してください。

4 [OK] ボタンを押して決定します。

5 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［方向］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［OK］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 サブメニュー 2 に戻ります。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［方向］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［OK］ボタンを押します。サブメニュー 2 に戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［方向］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[方向] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

L1 ・・・ 自動でファンの回転速度を調整します。
「L2」より大きい音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投写時よりファンの音が気になるときがあります。

L2 ・・・ ファンの回転速度を投写時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

ファン制御

プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換える機能です。

① ［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。

② ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。

③ ［方向］ボタンの上下で選択します。

④ ［OK］ボタンまたは［方向］ボタン左で、サブメニューに戻ります。

オフ ・・・ 通常の回転速度。
お買い上げ時の設定です。通常はこちらでご使用ください。

オン 1 ・・・ 周辺温度が高いときなど、通常より冷却力を高めたいときに選択します。
ファンの回転音は「ノーマル」より大きくなります。

オン 2 ・・・「オン 1」より速い回転速度。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ ファンの音の大きさは「オフ」→「オン 1」→「オン 2」の順で大きくなります。
※「高地」の目安として、海抜約 1000m を超える地域では、「オン 1」で使用することを推奨します。「オン 1」で有効な冷却効果を得られないときに「オン 2」に設定します。
※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、故障の原因となります。

ランプカウンター

ランプについての使用時間の表示と使用時間のリセットをします。

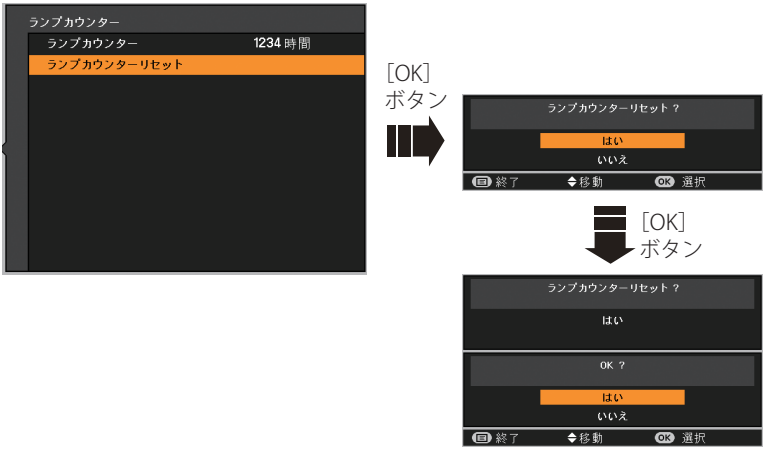
ランプカウンター

使用時間を表示します。（実使用時間）

ランプカウンターリセット

ランプカウンターのリセットをします。
ランプ交換後はかならずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると「ランプ交換」のお知らせ表示と［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯が消えます。

① ［方向］ボタンの上下で「ランプカウンターリセット」を選択し、［OK］ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現れます。
② ［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押します。
③ 「OK ？」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
※「いいえ」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。



注　意

ランプの交換を行ったとき以外はリセットしないでください。

ランプ交換をお知らせする画面表示について

投写中にランプ交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます（約 10 秒間）。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき（約 4 秒間表示）
- 「入力」を切り換えたとき（約 4 秒間表示）

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているとき、「FREEZE」（☞ 107 ページ）もしくは「Blank」（☞ 107 ページ）が動作中のときは、表示されません。
※「ランプカウンター」をリセットすると表示が消えます。

ランプ交換表示が出ているときにフィルター交換推奨時間に達したとき

「ランプ交換」 が表示されているときに、エアフィルター交換時間に達したときは、 の表示が消え、「フィルター警告」 が表示されます。
また、「フィルター警告」 が表示されているときに、ランプ交換時間に達したときは、 の表示が消え、「ランプ交換」 が表示されます。

フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセットをします。

フィルターカウンター

使用時間を表示します。

タイマー

エアフィルターの交換時期を知らせる表示を表示させるまでの時間を設定します。（オフ /2000 時間 /3000 時間 /4000 時間）

① ［OK］ボタンを押すと、▲▼ がサブメニュー 2 上に表示されます。［方向］ボタンの上下で選択し、［OK］ボタンで決定します。

② ［方向］ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

フィルターカウンターリセット

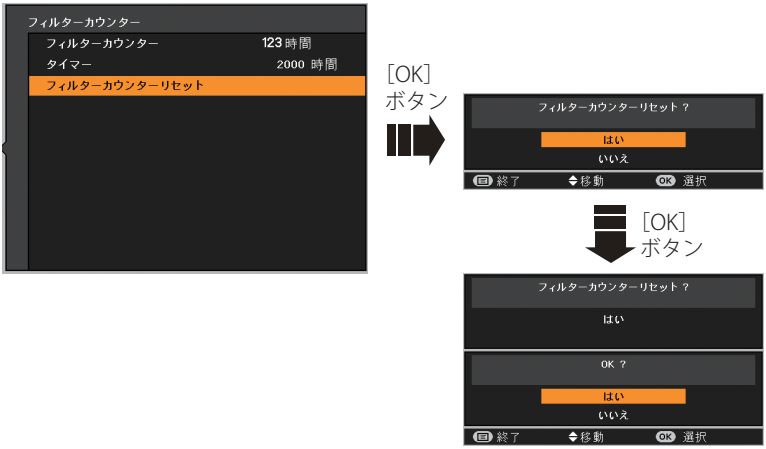
フィルターカウンターのリセットをします。
エアフィルターの交換後はかならずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。

① ［方向］ボタンの上下で「フィルターカウンターリセット」を選択し、［OK］ボタンを押すと「フィルターカウンターリセット？」の表示が現れます。

② ［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押します。

③ 「OK ？」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。

※「いいえ」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。



注　意

エアフィルターの交換を行ったとき以外はリセットしないでください。

エアフィルターの交換をお知らせする画面表示について

投写中にエアフィルター交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます（約 10 秒間）。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき（約 4 秒間表示）
- 「入力」を切り換えたとき（約 4 秒間表示）

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているとき、「FREEZE」（☞ 107 ページ）もしくは「Blank」（☞ 107 ページ）が動作中のときは、表示されません。
※「フィルターカウンター」をリセットすると表示が消えます。

フィルター警告が出ているときにランプ交換時間に達したとき

「フィルター警告」が表示されているときに、ランプ交換時間に達したときは、の表示が消え、「ランプ交換」が表示されます。
また、「ランプ交換」が表示されているときに、エアフィルター交換時間に達したときは、の表示が消え、「フィルター警告」が表示されます。

初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。

- ロゴ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ
- フィルターカウンター（タイマー・使用時間）

① ［OK］ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現れます。

② ［OK］ボタンを押すと「はい、いいえ」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押します。

③ 「OK ？」の表示が現れます。「はい」を選択し［OK］ボタンを押すと、設定が工場出荷時に戻り、サブメニュー 2 に戻ります。

※「いいえ」に合わせ、［OK］ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

キーロックを解除したいときや、「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」の暗証番号がわからなくなったとき

いったん電源コードを AC コンセントから抜き、［OK］ボタンを押しながら電源プラグを AC コンセントに差し込み、プロジェクターの電源を入れます。このとき、「POWER」インジケーターが点灯するまで、［OK］ボタンを押し続けてください。

- 「キーロック」は解除されます。
- 「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」は、それぞれ工場出荷時の暗証番号に戻ります。工場出荷時の暗証番号は以下のとおりです。

  「ロゴ暗証番号ロック」… 4321　　「暗証番号ロック」… 1234

リモコンのボタンの便利な機能

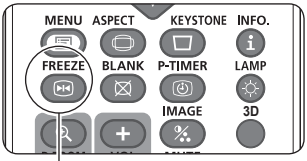
画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投写画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

※ 動作中、画面左上に表示されます。



[FREEZE] ボタン

こんなときに便利です

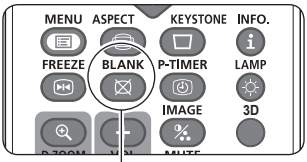
プレゼンターがコンピューターで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行えます。

画面を一時的に消す

[BLANK] ボタン

リモコンの［BLANK］ボタンを押すと、「Blank」表示が出て再生機器に関係なく投写画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



[BLANK] ボタン

Blank

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 91 ページ）に設定しているときは画面表示は出ません。

こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

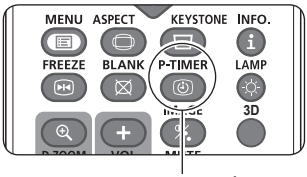
ロゴ画面を表示させることができます

［BLANK］ボタンを 2 回押します。
「設定」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」を使い、「ロゴ選択：ユーザー」を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。☞ 92 ページ

プレゼンテーション時に時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと時間のカウントを止め、それまでの時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。



[P-TIMER] ボタン

こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行うことができます。

保守とお手入れ

ランプ・エアフィルターの交換手順や、インジケータの状態などを説明します。

ランプの交換 …… 110
お手入れについて …… 112
エアフィルターについて …… 113
内部温度の上昇について …… 115
インジケータ表示と
プロジェクターの状態 …… 116
故障かなと思ったら …… 118

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと［ランプ交換］表示について

［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプを交換するまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。
また、画面右上に現れる「ランプ交換」のお知らせ表示でもランプ交換時期をお知らせします。
右図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。

「ランプ交換」のお知らせ表示

※ 画面表示は約 10 秒間です。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」(☞ 91 ページ) にしているときは表示されません。

ランプ交換表示が出ているときにエアフィルター交換時間に達したとき

「ランプ交換」 が表示されているときに、エアフィルター交換時間に達したときは、 の表示が消え、「フィルター警告」 が表示されます。
また、「フィルター警告」 が表示されているときに、ランプ交換時間に達したときは、 の表示が消え、「ランプ交換」 が表示されます。

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行います。かならず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、次のことをお知らせください。

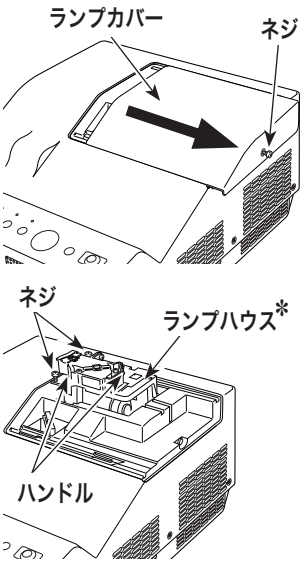
プロジェクターの品番	交換ランプの品番
LV-8235 UST	LV-LP36

⚠ 注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、1 時間以上放置してから行ってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

手　順

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。かならず 1 時間以上放置してください。
2. (+) ドライバーで 1 本ネジをゆるめ、ランプカバーを外側にずらし、はずします。
3. 2 本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。
4. ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、ネジを締めます。
5. ランプカバーを閉じ、ネジを締めて固定します。



＊ ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後はかならずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。
リセットのしかたは、「設定」メニュー内の「ランプカウンター」を参照してください。
☞ 103 ページ

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

ランプが点灯しなくなってから交換するときは、ランプが破裂しているおそれがあります。
とくに、天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。ランプカバーもそっと開いて下さい。ランプカバーをはずすときにガラスの破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
※ 19 ページの「ランプについての安全上のご注意」も参照してください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズ (投写窓) や本体にホコリが付着しないよう、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

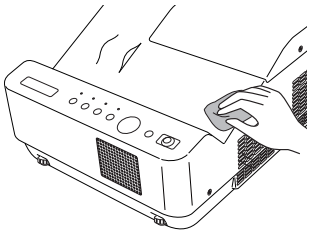
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

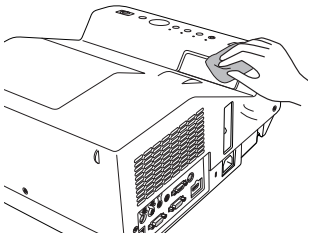
● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● 投写窓のお手入れ ●

投写窓の清掃は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの清掃用に市販されているクロスやペーパー) で行ってください。投写窓の表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。





⚠ 警告

可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しないでください。ランプの点灯により製品内部は非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも、爆発・火災の原因になります。また、可燃性のエアスプレーでなくても、冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

エアフィルターについて

「フィルター警告」の表示について

「設定」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したときに「フィルター警告」が表示されます。

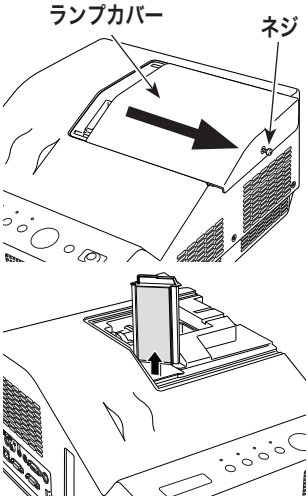
エアフィルターの交換

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに清掃してください。☞ 15 ページ

交換用エアフィルターの サービス部品コード：DY5-2490-000

手　順

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。かならず 1 時間以上放置してください。
2. (+) ドライバーで 1 本ネジをゆるめ、ランプカバーを外側にずらし、はずします。
3. エアフィルターを取り出します。
4. 向きに注意しながら、エアフィルターを本体にはめ込みます。
5. ランプカバーを閉じ、ネジを締めて固定します。

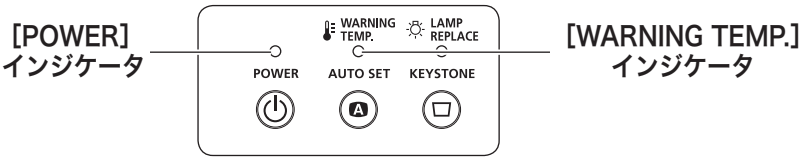


フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジの交換後はかならずフィルターカウンターをリセットしてください。「フィルター警告」表示が消えます。
リセットのしかたは、「設定」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。☞ 104、105 ページ

- エアフィルターは水洗いできません。
  エアフィルターが水などで濡れないようにご注意下さい。故障の原因となります。
- 通気口の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。
- エアフィルター交換後「フィルターカウンターリセット」を忘れずに行ってください。

内部温度の上昇について



[WARNING TEMP.] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れて［POWER］インジケータ (緑) が消え、点滅（赤）を始めます。［WARNING TEMP.］インジケータ は高速の点滅に変わります。［POWER］インジケータが点灯に変わり、リモコンまたは本体の［POWER］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えます。

ここを確認してください

- エアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルター周辺を清掃してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～40℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING TEMP.］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING TEMP.] インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WRNING TEMP.］インジケータが点灯します。このとき、リモコンおよび本体の［POWER］ボタンでの「電源入・切」はできなくなります。

このようなときは、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れて [WRNING TEMP.] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合は、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントに接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となることがあります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行ってください。

インジケータの状態

○ ・・・ **点灯**　● ・・・ **消灯**　◌ ・・・ **点滅**

✻ のときのインジケータの状態ついて

[LAMP REPLACE]、［3D］インジケータは、点灯する条件になったときに、他のインジケータの状態に関係なく、点灯します。

例：[LAMP REPLACE] インジケータが点灯するとき [POWER] インジケータは点灯・点滅・消灯いずれの場合もあります。

正常な動作のとき

インジケータ					プロジェクターの状態
POWER 緑	POWER 赤	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	3D 青	
●		●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
	○	●	✻	✻	プロジェクターはスタンバイ状態です。 リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押すと動作します。
○		●	✻	✻	プロジェクターは正常に動作しています。
	◌	●	✻	✻	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが点灯に変わるまでは［POWER］ボタンを押しても始動することはできません。
◌		●	✻	✻	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
○		●	✻	○	3D 映像を投写中です。

内部の温度に異常があるとき

インジケータ					プロジェクターの状態
POWER 緑	POWER 赤	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	3D 青	
	○	○	✻	✻	プロジェクターの内部温度が高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータと [POWER] インジケータが点滅し、自動的に電源が切れます。リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。 プロジェクターが冷却され正常な温度になると［POWER］インジケータが点灯（赤）に変わります。リモコンまたは操作パネルの [POWER] ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。（[WARNING TEMP.］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行ってください。
	○	○	✻	✻	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行ってください。

内部電源に異常があるとき

インジケータ					プロジェクターの状態
POWER 緑	POWER 赤	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	3D 青	
●		○	✻	✻	プロジェクターの内部に異常が検出されました。 リモコンまたは操作パネルの［POWER］を押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。 再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

ランプに異常があるとき

インジケータ					プロジェクターの状態
POWER 緑	POWER 赤	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	3D 青	
✻		✻	○	✻	ランプ交換推奨時間に達しました。 また画面右上にも が表示され交換をお知らせします。 速やかにランプを交換してください。交換後はランプカウンターをリセットしてください。（☞ 103 ページ）リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータは消えます。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。また「インフォメーション」メニューで、信号の状況や設定状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	□ 電源コードは接続されていますか。	37
		□ 電源は入っていますか。［POWER］ボタンを押してみてください。	40
		□ ［POWER］インジケータが消えているときは［POWER］ボタンを押しても電源が入りません。	116
		□ ［WARNING TEMP.］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており［POWER］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。	115～117
		□ 「キーロック」が働いていませんか。リモコンまたは操作パネルの［POWER］ボタンを押してみてください。	99、100
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	□ 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「設定」の「暗証番号ロック」を確認してください。	100、101
オープニング	オープニング画面が出ない	□ 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウン オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	91
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	□ 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	91、92
	インプットモードが自動的に切り換わる（切り換わらない）	□ 「オートインプット」が「オン 2」（または「オン 1・オフ」）になっていませんか。「設定」を確認してください。	88、89
	インプットモードとランプコントール以外の表示が現れた	□ ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	43
画像・画質	画像が映らない	□ コンピューターやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	34～36
		□ 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく）	91
		□ 「Blank」モードになっていませんか。リモコンの［BLANK］ボタンを押してみてください。	
		□ コンピューターのシステムモードが合っていますか。	66、67
		□ 使用温度範囲（5℃～ 40℃）から外れていませんか。	14
		□ コンピューターが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピューターの使用説明書をご覧ください。	
		□ コンピューターを再起動してみてください。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画像が不鮮明	□ フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	48
		□ スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲から外れていませんか。	32
		□ スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	32
		□ 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	
		□ 投写窓が汚れたり、くもってはいませんか。投写窓のお手入れをしてください。	112
	画面が暗い	□ 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「画質調整」を確認してみてください。	73～76
		□ 画像イメージが、正しく選択されていますか。「画質モード」を確認してみてください。	72、73
		□ 「ランプモード」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」はノーマルモードよりも暗くなります。	98
		□ ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれだんだん暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示が出たら、新しいランプに交換してください。	110、111
	画像の色がおかしい・色が出ない	□ 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピューターのシステムモードは合っていますか。また、「画質調整」を確認してください。	64～67 73～76
		□ 「カラーボード」を選択していませんか。「アスペクト」を確認してください。	84、85
	逆さまに映っている	□ 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「アスペクト」メニューを確認してください。	79～81
	画像がゆがんだり切れたりする	□ 「PC 調整」や「アスペクト」を確認・調整してください。	68～71 77～86
設定・操作・調整	オート PC が働かない	□ 入力信号を確認してください。入力信号がデジタルのときは選択できません。	124～128
		□ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1080i、1080p が選択されているときは、オート PC 機能は働きません。	
	表示されない機能がある	□ 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	91
	電源を切る前の設定が残っていない	□ 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	70、74
	「パワーマネージメントモード」が働かない	□ 「FREEZE」または「Blank」が動作中のときは「パワーマネージメントモード」は動作しません。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
設定・操作・調整	「キャプチャー」が働かない	□ 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	34～36
		□「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	92、93
	「コンピューター2」が表示されない。	□「端子設定」が「モニター出力」になっていませんか。「設定」を確認してください。	96
	選択できないメニューがある	□ コンピューター入力画面とビデオ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。また他のメニューが選択できなくなるメニュー設定もあります。 制限されているメニューはグレーで表示され選択できません。	
	「オートセットアップ」が正しく働かない	□ 設定が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	88、89
		□「天吊り」が「オン」になっていませんか。「アスペクト」を確認してください。	79、80
	自動的に電源が切れる	□ 工場出荷時の設定で「パワーマネージメントモード」機能が設定されています。「設定」を確認してください。	96、97
	操作パネルで操作できない	□「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「設定」を確認してください。	99、100
リモコン	リモコンで操作できない	□ 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。	29
		□ 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。	29
		□ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。	29、30
		□ リモコンの受信範囲から、外れていませんか。受信範囲で操作してください。	29、30
		□ リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	30
		□「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「設定」を確認してください。	99、100
音声	音が出ない	□ コンピューターやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	34～36
		□ 音量が最小になっていませんか。［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	51
		□ 消音状態になっていませんか。［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	51
		□［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていませんか。［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。。	
		□ 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	音が出ない（つづき）	□「入力」で選択した信号の映像が投写されていますか。接続していても映像が投写されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	34～36
3D	3D 映像にならない	□ 設定が 3D になっていますか。メガネの設定を確認してください。	
	左右の映像が逆になっている（正しく映らない）	□ 同期が合っていますか。メガネの設定または「設定」の「3D 設定」を確認してください。	89、90
	メガネの映像がちらつく（フリッカー）	□ 受信可能範囲から外れていませんか。メガネとエミッターの間に障害物がありませんか。	
	メガネが機能しない	□ メガネの電池が切れていませんか。電池を交換してください。	
		□ プロジェクターの設定が 3D になっていますか。プロジェクターの設定を確認してください。	89、90
その他	インジケータが点滅・点灯している	□「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	116、117
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	□ 解除方法を確認してください。	106
	ボタンを押したのに、(!) が表示された	□ プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。	

付　録

コンピューターシステムモード
一覧 …… 124
メニュー内容一覧 …… 129
仕様 …… 133
（別売品 …… 135）

コンピューターシステムモード一覧

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード 1 ～ 5」は含みません。）接続されたコンピューターの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

コンピューターの信号がアナログのとき

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	3D 対応
VGA 1	640x480	31.470	59.880	○
VGA 2	720x400	31.470	70.090	
VGA 2	640x400	31.470	70.090	
VGA 4	640x480	37.860	74.380	
VGA 5	640x480	37.860	72.810	
VGA 6	640x480	37.500	75.000	
VGA 7	640x480	43.269	85.000	
MAC 13	640x480	34.970	66.600	
MAC 13	640x480	35.000	66.670	
SVGA 1	800x600	35.156	56.250	○
SVGA 2	800x600	37.880	60.320	○
SVGA 3	800x600	46.875	75.000	
SVGA 4	800x600	53.674	85.060	
SVGA 5	800x600	48.080	72.190	
SVGA 6	800x600	37.900	61.030	○
SVGA 7	800x600	34.500	55.380	○
SVGA 2	800x600	38.000	60.510	○
SVGA 9	800x600	38.600	60.310	○
SVGA 10	800x600	32.700	51.090	○
SVGA 2	800x600	38.000	60.510	○
SVGA 12	800x600	76.302	119.972	○
MAC 16	832x624	49.720	74.550	
XGA 1	1024x768	48.360	60.000	○
XGA 2	1024x768	68.677	84.997	
XGA 3	1024x768	60.023	75.030	
XGA 4	1024x768	56.476	70.070	
XGA 5	1024x768	60.310	74.920	
XGA 1	1024x768	48.500	60.020	○
XGA 7	1024x768	44.000	54.580	○
XGA 8	1024x768	63.480	79.350	
XGA 10	1024x768	62.040	77.070	
XGA 11	1024x768	61.000	75.700	
XGA 13	1024x768	46.900	58.200	○

コンピューターの信号がアナログのとき（つづき）

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	3D 対応	
XGA 13	1024x768	47.000	58.300	○	
XGA 15	1024x768	58.030	72.000		
XGA 16	1024x768	97.551	119.989	○	
XGA 5	1024x768	60.240	75.080		
SXGA 1	1152x864	64.200	70.400		
SXGA 2	1280x1024	62.500	58.600	○	
SXGA 3	1280x1024	63.900	60.000	○	
SXGA 4	1280x1024	63.340	59.980	○	
SXGA 3	1280x1024	63.740	60.010	○	
SXGA 6	1280x1024	71.690	67.190		
SXGA 7	1280x1024	81.130	76.107		
SXGA 3	1280x1024	63.980	60.020	○	
SXGA 9	1280x1024	79.976	75.025		
SXGA 10	1280x960	60.000	60.000	○	
SXGA 11	1152x900	61.200	65.200		
SXGA 12	1152x900	71.400	75.600		
SXGA 4	1280x1024	63.370	60.010	○	
SXGA 16	1280x1024	76.970	72.000		
SXGA 17	1152x900	61.850	66.000		
SXGA 3	1280x1024	63.790	60.180	○	
SXGA 20	1280x1024	91.146	85.024		**2
SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190	○	
SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120	○	
SXGA+ 2	1400x1050	65.120	59.900	○	
SXGA+ 1	1400x1050	64.030	60.010	○	
SXGA+ 5	1400x1050	62.500	58.600	○	
SXGA+ 6	1400x1050	64.744	59.948	○	
SXGA+ 7	1400x1050	65.317	59.978	○	
MAC 21	1152x870	68.680	75.060		
SXGA 9	1280x1024	80.000	75.080		
WXGA 3	1376x768	48.360	60.000	○	
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	○	
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893		
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837		
WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	○	
WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000	○	

コンピューターの信号がアナログのとき（つづき）

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	3D 対応	
WXGA 11	1280 × 800	49.702	59.810	○	
WXGA 13	1360x768	97.533	119.967	○	
WXGA 14	1280 × 768	97.396	119.798	○	
WXGA 15	1280 × 800	101.563	119.909	○	
WUXGA 1	1920x1200	74.556	59.885		**1/2
WUXGA 2	1920x1200	74.038	59.950	○	**2
WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954		
WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887	○	
UXGA 1	1600x1200	75.000	60.000	○	**2
UXGA 2	1600x1200	81.250	65.000		**1/2
UXGA 3	1600x1200	87.500	70.000		**1/2
UXGA 4	1600x1200	93.750	75.000		**1/2
UXGA 5	1600x1200	106.250	85.000		**1/2
480p	720x480	31.469	59.940		
575p	720x575	31.250	50.000		
575i	720x575	15.625	50.000		*i
480i	720x480	15.734	60.000		*i
720p	1280x720	45.000	60.000		
720p	1280x720	37.500	50.000		
1080i	1920x1080	33.750	60.000		*i
	1920x1080	28.125	50.000		*i
1080p	1920x1080	33.750	30.000		
	1920x1080	28.125	25.000		
	1920x1080	27.000	24.000		
	1920x1080	67.500	60.000		
	1920x1080	56.250	50.000		

コンピューターの信号がデジタルのとき

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	3D 対応
D-VGA	640x480	31.469	59.940	○
D-SVGA	800x600	37.879	60.320	○
D-SVGA	800x600	76.302	119.972	○
D-XGA	1024x768	43.363	60.000	○
D-XGA	1024x768	97.551	119.989	○
D-WXGA 3	1376x768	48.360	60.000	○
D-WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	○
D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	
D-WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837	
D-WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	○
D-WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000	○
D-WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810	○
D-WXGA 13	1360x768	97.533	119.967	○
D-WXGA 14	1280 x 768	97.396	119.798	○
D-WXGA 15	1280 x 800	101.563	119.909	○
D-SXGA 1	1280x1024	63.980	60.020	○
D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.069	
D-SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120	
D-SXGA+ 2	1400x1050	65.120	59.900	
D-SXGA+ 5	1400x1050	62.500	58.600	○
D-SXGA+ 6	1400x1050	64.744	59.948	○
D-SXGA+ 2	1400x1050	65.317	59.978	○
D-WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954	
D-WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887	○
D-480p	720x480	31.469	59.940	○
D-480p	720x480	62.937	119.880	○
D-575p	720x575	31.250	50.000	○
D-575p	720x575	62.500	100.000	○
D-720p	1280x720	45.000	60.000	○
D-720p	1280x720	37.500	50.000	○
D-720p	1280x720	90.000	120.000	○
D-720p	1280x720	75.000	100.000	○
D-480i	720x480	15.734	59.940	○
D-480i	720x480	31.469	119.880	○
D-575i	720x575	15.625	50.000	○
D-575i	720x575	31.250	100.000	○

コンピューターの信号がデジタルのとき（つづき）

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	3D 対応	
D-1080i	1920x1080	33.750	60.000	○	*i
	1920x1080	28.125	50.000	○	*i
D-1080i	1920x1080	67.500	120.000	○	*i
D-1080i	1920x1080	56.250	100.000	○	*i
D-1080p	1920x1080	33.750	30.000		
	1920x1080	28.125	25.000		
	1920x1080	27.000	24.000		
	1920x1080	67.500	60.000		
	1920x1080	56.250	50.000		

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 150MHz 以上のコンピューターの信号には対応しておりません。
※ ご使用のコンピューターによっては、D-WXGA 1 ～ D-WXGA+ 1 の画像は正しく映らない場合があります。
※ SXGA を越える解像度の信号（SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1080i）を投写するときは、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。
*ｉ：インターレース信号
**1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。
**2：「画面サイズ：リアル」には対応していません。

メニュー内容一覧

入力
- コンピューター 1
  - ANALOG PC → システム (1)
  - COMPONENT
  - SCART
- コンピューター 2
  - ANALOG PC → システム (1)
- HDMI
- ビデオ
- S-VIDEO

システム (1)
- モード 1
- モード 2
- XGA 1
- - - - -

※ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

PC 調整
- オート PC
- トラッキング
  - 0 - 31
- 総ドット数
- 水平位置
- 垂直位置
- コンピューター情報
  - 水平周波数
  - 垂直周波数
- クランプ
- リセット
  - はい / いいえ
- データ消去
  - モード 1 ～ 10
- メモリー
  - モード 1 ～ 10

画質モード
- プレゼンテーション
- スタンダード
- ハイコントラスト
- シネマ
- ユーザー 1 ～ 4

メニュー内容一覧（つづき）

画質調整

- コントラスト ― 0 - 63
- 明るさ ― 0 - 63
- 色の濃さ* ― 0 - 63
- 色合い* ― 0 - 63
- 色温度 ― 超低 / 低 / 中 / 高 / ユーザー
- 赤 ― 0 - 63
- 緑 ― 0 - 63
- 青 ― 0 - 63
- 画質 ― 0 - 15
- ガンマ補正 ― 初期設定 / 1.8/ 2.0/ 2.2/ 2.4/ 2.6
- ノイズリダクション* ― オフ / L1/ L2
- プログレッシブ* ― オフ / L1/ L2 / フィルム
- リセット ― はい / いいえ
- メモリー ― ユーザー 1 ～ 4

* ビデオ入力の時のみ表示
** PC 入力の時のみ表示

アスペクト

- ノーマル
- フル
- 16：9
- ズーム
- リアル**
- ピッタリワイド *
- カスタム
- カスタム調整
  - 水平スケール
  - 垂直スケール
  - H & V
  - 水平位置
  - 垂直位置
  - 共通
  - リセット
- デジタルズーム +**
- デジタルズーム –**
- キーストーン
  - キーストーン
  - メモリー ― メモリー / リセット
- 天吊り ― オン / オフ
- リア投映 ― オン / オフ
- スクリーンアスペクト ― 4:3 / 16:9 / 初期設定 (16:10)
- カラーボード ― オフ / 赤 / 青 / 黄 / 緑 / 黒 (緑) 板
- リセット ― はい / いいえ

サウンド

- 音量 ― 0 - 63
- 消音 ― オン / オフ

メニュー内容一覧（つづき）

設定
（第一画面）

- 言語
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - オランダ語
  - スウェーデン語
  - フィンランド語
  - ノルウェー語
  - デンマーク語
  - ポーランド語
  - ハンガリー語
  - ルーマニア語
  - ロシア語
  - ブラジルポルトガル語
  - トルコ語
  - アラビア語
  - カザフ語
  - 簡体中国語
  - 繁体中国語
  - 韓国語
  - 日本語
  - タイ語
- メニュー表示位置
- オートセットアップ
  - オートインプット — オフ / オン 1 / オン 2
  - オート PC — オフ / オン
- 3D 調整
  - 3D — オフ / オン / NVIDIA 3D VISION
  - 3D 同期設定 — 1 / 2
  - 3D → 2D — オフ / オン
  - 3D 位相調整 — 0 - 31
- ズーム — リセット / メモリー 1/ メモリー 2
- バックグラウンド — 青 / ユーザー / 黒
- オンスクリーン表示 — オフ / カウントダウン オフ / オン
- ロゴ
  - ロゴ選択 — オフ / 初期設定 / ユーザー
  - キャプチャー — はい / いいえ
  - ロゴ暗証番号ロック — オン / オフ
  - ロゴ暗証番号変更
- HDMI 設定
  - イメージ — 標準 / 拡張
  - サウンド — HDMI / コンピューター 1
- 端子設定 — コンピューター 2/ モニター出力
- スタンバイモード — エコ / ネットワーク

メニュー内容一覧（つづき）

設定
（第二画面）

- パワーマネージメントモード
  - オフ / 待機 / 終了
  - タイマー ―― 分（1 ～ 30 分）
- ダイレクトパワーオン ―― オフ / オン
- クローズドキャプション
  - クローズドキャプション ―― オフ / CC1 ～ CC4
  - カラー ―― カラー / ホワイト
- ランプモード ―― ランプモード ―― ノーマル / エコ
- リモコンコード ―― コード 1 / コード 2
- セキュリティ
  - キーロック ―― オフ / プロジェクター / リモコン
  - 暗証番号ロック ―― オフ / オン 1 / オン 2
  - 暗証番号変更
- ファン ―― L1 / L2
- ファン制御 ―― オフ / オン 1 / オン 2
- ランプカウンター
  - ランプカウンター ―― 時間（使用時間）
  - ランプカウンターリセット ―― はい / いいえ
- フィルターカウンター
  - フィルターカウンター ―― 時間（使用時間）
  - タイマー ―― オフ /2000 時間 /3000 時間 /4000 時間
  - フィルターカウンターリセット ―― はい / いいえ
- 初期設定 ―― はい / いいえ

インフォメーション
（第一画面）

- 入力
- 水平周波数
- 垂直周波数
- アスペクト
- 言語
- ランプ状態
- ランプカウンター
- パワーマネージメントモード
- キーロック

インフォメーション
（第二画面）

- 暗証番号ロック
- リモコンコード
- SERIAL NO.

仕様

プロジェクター本体

型名	LV-8235 UST
種類	DLP® プロジェクター
表示方式	DLP® チップ　1 枚
DLP® チップ	サイズ : 0.65 型 x 1 アスペクト比 16:10 画素数 :1,024,000 画素 (1,280 × 800) × 1 枚
投写レンズ	固定超短焦点レンズ　F=2.5　f=4.83mm
光源	275W NSHA ランプ
画面サイズ	最小 60 ～最大 110 型（23.0cm ～ 45.5cm） ※ プロジェクターからスクリーンまでの距離
フォーカス調整	手動
明るさ	2500lm(ランプモード：ノーマル、画質モード：プレゼンテーション時)
コントラスト比	2000 : 1(ランプモード：ノーマル、画質モード：プレゼンテーション時)
周辺照度比	78%
入出力 COMPUTER IN 1/ COMPONENT IN	アナログ RGB 入力 : ミニ D-sub_15 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω) コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、ミニ D-sub 15 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
COMPUTER IN 2	アナログ RGB 入力 : ミニ D-sub_15 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
MONITOR OUT	アナログ RGB 出力 (出力 1 系統): ミニ D-sub 15 ピン
HDMI	HDMI 映像（1 系統）：ベローズタイプ 19 ピン デジタル：TMDS(Transition Minimized Differential Signaling)
VIDEO IN	映像 : ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω
S-VIDEO IN	S 映像入力 : セパレート YC 信号、ミニ DIN_4 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C;0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω

プロジェクター本体（つづき）

音声 AUDIO IN　(L,R)	ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ：右)
COMPUTER 1/ COMPONENT/ COMPUTER 2	ミニジャック (ステレオ) x2 、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上
AUDIO OUT	ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート：D-sub 9 ピン LAN 端子：RJ-45（100Base-TX / 10Base-T） 3D SYNC 端子
音声出力	モノラル　10W (JEITA)
スピーカ	3.7cm　円形 1 個
入力対応 走査周波数	水平 15k ～ 93kHz、垂直 50 ～ 120Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
使用環境温度	5℃～ 40℃
保存温度	-10℃～ 60℃
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	320W/400W（ランプモード：エコ / ノーマル）
待機中消費電力	0.47W/10.3W（スタンバイモード：エコ / ネットワーク）
本体寸法	幅 321.0 ×高さ 170.0 ×奥行 385.0 mm (突起物を含まず)
質量	6.2 Kg

リモコン

電源	DC3.0V　単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 3.5m（± 90°）
本体寸法	幅 52.0 ×高さ 18.0 ×奥行 110.0mm
質量	67.0g (電池を含む)

付属品

- ■ リモコン（MXCW）…… 1 個
- ■ リモコン用乾電池（単 4 形）…… 2 本
- ■ 電源コード …… 1 本
- ■ 電源プラグアダプタ …… 1 個
- ■ コンピューターケーブル（D-sub 用）…… 1 本
- ■ 使用説明書 …… 2 冊 (本書＋別冊）
- ■ 保証書
- ■ PIN コードラベル…… 1 枚

別売品

■ ランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-LP36
■ D-sub コンポーネントケーブル ・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-CA32
■ リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-RC05
■ 壁掛け金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-WL01
■ 高天井用天吊り金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-CL21
■ 天吊り金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：LV-CL20

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投写される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

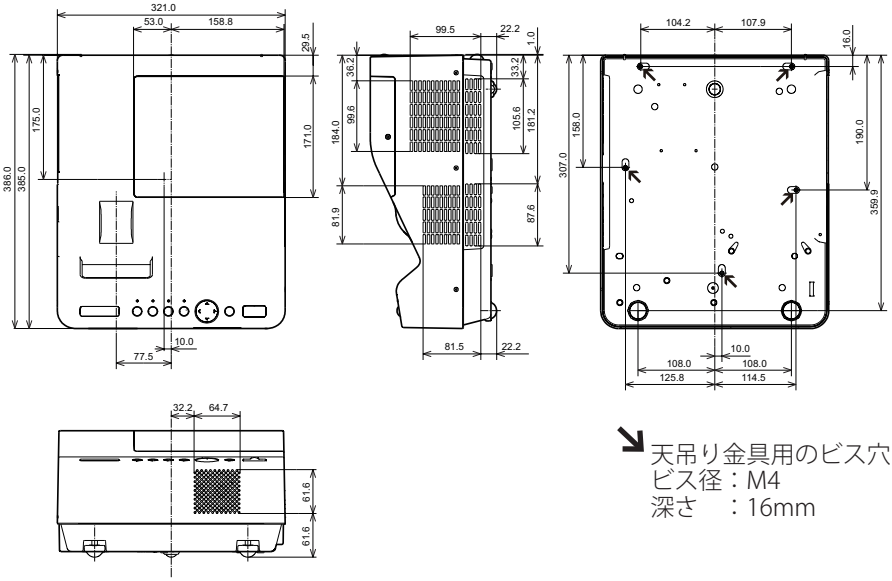
※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投写することができます。HDCP の規格変更等が行われた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

※ DLP®チップについて：まれに点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが故障ではありません。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm

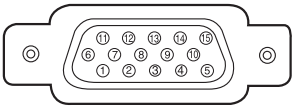


端子の仕様

COMPUTER IN 1 /COMPONENT IN/COMPUTER IN 2/MONITOR OUT（コンピューター入力 / モニター出力端子）

コンピューター入力・モニター出力の入出力端子として動作します。接続には、コンピューター接続ケーブル（D-sub 用）を使用します。

ミニ D-sub15 ピン

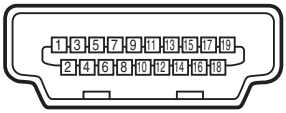


1	R/Cr 入出力	9	＋ 5V パワー / 未接続
2	G/Y 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B/Cb 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

HDMI（HDMI 端子 Type A）

HDMI 出力端子を持つビデオ機器や DVD プレーヤ、ハイビジョン受信機などを接続する端子です。接続には HDMI 端子ケーブルをご使用ください。

HDMI 端子 19 ピン (Type A)



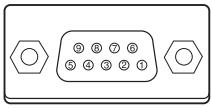
1	TMDS データ 2+ 入力	11	接地 (TMDS クロック)
2	接地 (TMDS データ 2)	12	TMDS クロック - 入力
3	TMDS データ 2- 入力	13	未接続
4	TMDS データ 1+ 入力	14	未接続
5	接地 (TMDS データ 1)	15	SCL
6	TMDS データ 1- 入力	16	SDA
7	TMDS データ 0+ 入力	17	接地 (DDC/CEC)
8	接地 (TMDS データ 0)	18	+5V 電源
9	TMDS データ 0- 入力	19	プラグ挿入検出
10	TMDS クロック + 入力		

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LCC の商標または登録商標です。

CONTROL PORT（コントロールポート端子）

シリアルでコンピューター機器からプロジェクターを操作するときに、コンピューター機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン



1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	未接続
3	TXD	8	未接続
4	未接続	9	未接続
5	SG		

3D SYNC OUT（3D 出力端子）

赤外線エミッタと接続するときに使用します。

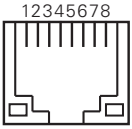
ミニ DIN 3 ピン

1	+5VDC	3	Stereo Sync
2	接地		

LAN（ネットワーク接続端子）

有線 LAN 端子（ケーブル）を接続します。

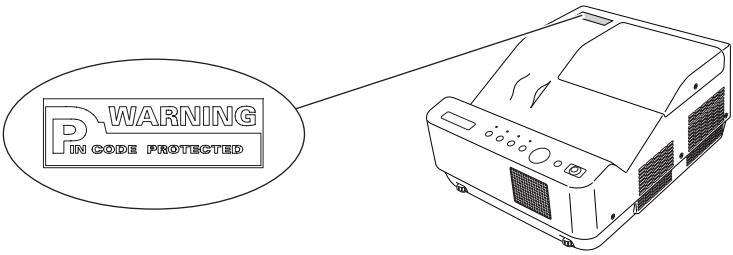
LAN コネクター



1	TX＋	5	未接続
2	TX－	6	RX－
3	RX＋	7	未接続
4	未接続	8	未接続

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。 このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
Computer 1	ANALOG PC	RGB 1	11
	COMPONENT	VIDEO 2	22
	SCART	RGB 2	12
Computer 2	ANALOG PC	RGB 3	13
HDMI(Digital)		DIGITAL 3	33
VIDEO		VIDEO 1	21
S-VIDEO		VIDEO 5	25

PJ Link について

2003 年 9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。
メーカを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクタの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクタ制御：電源制御、入力切り換えなど
プロジェクタの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink™ PJLink は JBMIA の登録商標です。

PJLink　サイト URL
http://pjlink.jbmia.or.jp

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、同梱されています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
なお、保証内容については、保証書に記載しております。

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、下のキヤノンお客様センターにご相談ください。（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

■ 補修用性能部品について

この保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。
お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。
また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

愛情点検

● 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品か劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品　番	LV-8235 UST
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）
050 - 555 - 90071

［受付時間］　〈平日〉9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用ください。
※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。

1AA6P1P5988-- (KG8RD)
© CANON INC. 2011
YT1-5379-000